富士電機 グループ POD



ハード仕様書 モニタッチ V808CH



改訂履歴

取扱説明書番号は、本書の裏表紙の左下に記載されています。

印刷日付	取扱説明書番号	改訂内容
2008年12月	2019NJ0	初版
2011 年 4 月	2019NJ1	 第2版 [一部改訂] 裏表紙 住所変更 アースの配線 その他一部修正 [追加] 周辺アクセサリ(V8H-ST) 作画環境 OS ファンクションスイッチ 輝度調整メニュー
2012 年 8 月	2019NJ2	第3版 [一部改訂] • 表紙 • その他一部修正

はじめに

この度は V808CH をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 V808CH のご使用に関しては、本書の内容をご理解の上、正しくご使用くださるよう、お願い申し上げます。 なお、V808CH には以下の関連マニュアルがあります。必要に応じてご使用ください。

マニュアル名称	内容	取扱説明書 番号
V8 シリーズ リファレンスマニュアル	V8 シリーズの機能・使用方法を説明したもの	1055NJ
V シリーズ マクロリファレンス	マクロの概要、マクロエディタの操作方法、マクロコ マンドの内容などを詳しく説明したもの	1056NJ
V8 シリーズ 導入マニュアル	V-SFT-5の基本的な操作方法について詳しく説明した もの	1057NJ
V8 シリーズ オペレーションマニュアル	V-SFT-5の構造、各項目の編集方法、制限事項など操 作に関する内容について詳しく説明したもの	1058NJ
V8 シリーズ リファレンス追加機能	V-SFT-5 の Ver. 5.1.0.0 より追加の V8 シリーズの機 能・使用方法を説明したもの	1060NJ
V8 シリーズ 接続マニュアル	V8 シリーズと各コントローラとの配線、通信設定に ついて詳しく説明したもの	2201NJ
V シリーズ DLL 関数仕様書	Ethernet DLL(HKEtn20.DLL)、CF カード DLL (VCFAcs.DLL)の概要、内容を詳しく説明したもの	1059NJ

各コントローラ(PLC、温調など)の詳細については、各コントローラメーカーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。

- 2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 3. Windows、Excelは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- 4. その他の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
- 5. 本書の内容については万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点がありましたら、技術相談窓 ロまでご連絡ください。

安全上のご注意

本書は V808CH を安全に使用していただくために、注意事項のランクを「危険」、「注意」に分けて、下記のよう な表示で表しています。

⚠️ 危 険	取り扱いを誤った場合、 <u>死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況</u> を示します。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、 <u>軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある状況、および物</u> <u>的損害の発生が予測される危険な状況</u> を示します。

なお、 🕂 注 意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

⚠ 危 険
 V808CHのタッチスイッチなどの出力信号を、人命や機器の破損にかかわるところや、緊急用として、使用しないでください。また、タッチスイッチの故障に対応できるシステム設計を行ってください。タッチスイッチの故障により、機械の破損や事故の恐れがあります。 装置の組立、配線作業、および保守・点検は必ず電源を切ってから行ってください。感電や破損の恐れがあります。
あります。 • 通電中は絶対に端子に触れないでください。感電の恐れがあります。 • 液晶パネルの液体(液晶)は、有害物質です。液晶パネルが損傷した場合、流出した液晶を口に入れない でください。皮膚や衣服についた場合は、石鹸などで洗い流してください。
 リチウム電池の+-逆接続、充電、分解、加圧変形、火中への投入、短絡はしないでください。破裂、発火の恐れがあります。 リチウム電池の変形、液漏れ、その他の異常に気がついた際は使用しないでください。破裂、発火の恐れ がたります。
かめります。 • バックライトの寿命・故障等によって画面が暗くなった場合、POWER ランプが点滅します。この時、画 面上のスイッチは有効です。画面が暗くて見にくい状態で、かつ POWER ランプが点滅している時は、画 面に触れないでください。誤作動による機械の破損、事故の恐れがあります。
 非常停止や3ポジションは、必ず安全回路に接続してください。プログラマブルコントローラのみで非常 停止回路構成はしないでください。重大な事故につながる危険性があります。 また、IEC/EN60204-1に基づきカテゴリ0または1で機能するように接続してください。
非常停止スイッチを使用される場合は、接続機器等から容易にケーフルが外れないように固定(接続)してください。 • モニタッチに接続する、安全に関わる機器及び部品については、要求される安全性のレベル及びカテゴリ に応じて適当な規格品を使用してください。
システムの安全性及び安全カテゴリへの適合性は、システム全体としての評価が必要となります。 また、安全要求事項は各国さまざまな規格、ガイドラインで規定されていますので、安全カテゴリへの適 合の判定は、権限のある第三者認定機関などにご相談ください。

▲ 注 意
 開梱時に外観チェックを行ってください。損傷、変形のあるものは使用しないでください。火災、誤動作、 故障の原因となります。
 原子力関連、航空宇宙関連、医療関連、交通機器関連、乗用移動体関連あるいはこれらのシステムなどの 特殊用途へのご使用につきましては、弊社営業へご相談ください。
 V808CHは本書および関連マニュアル記載の一般仕様の環境で使用(保管)してください。一般仕様以外の環境で使用すると、火災、誤動作、製品の破損、あるいは劣化の原因になります。
 下記のような場所には使用(保管)しないでください。故障、火災の原因になります。 水 座合ガス 可燃性ガス 溶剤 研測法 切削法 に直接触れる場所
 ・
 V808CHの電源入力部端子台の端子ネジの締め付けは規定トルク範囲で均等に締め付けてください。締め 付けに不備があると、火災、誤動作、故障の原因となります。
 V808CHは表示部にガラスを使用しているので、落下させたり強い衝撃を与えないでください。破損の恐れがあります。
 V808CHへの配線は定格電圧、定格電力を考慮して正しく端子に配線してください。定格外の電源を供給したり、誤配線した場合は製品の破損、故障、火災の原因になります。
• V808CH は必ず接地してください。FG 端子は D 種接地の V808CH 専用で接地してください。 感電、火災の 原因となります。
 V808CH内に導電性異物が入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。 V808CHの修理はその場では絶対に行わないで、弊社または弊社指定業者へ修理依頼してください。 V808CHの修理・分解・改造はしないでください。弊社以外、もしくは弊社指定以外の第三者が行った場
 合に、それが原因で生じた損害等につきましては責任を負いかねます。 先が鋭利な物でタッチスイッチを押さないでください。表示部が破損する恐れがあります。
 取付、配線作業および保守・点検は専門知識を持つ人が行ってください。 リモウム電池はリモウムや有機深度などの可燃性物質を内蔵しているため、取り扱いを調ると、発熱、確
裂発火などにより、けがをしたり、火災に至る恐れがあります。関連マニュアル記載の注意事項を守って 正しく取り扱いください。
 スクリーン上を同時に2点以上押さないでください。同時に2点以上押した場合、押した点の中心にスイッチがあると、そのスイッチが動作することがあります。
 運転中の設定変更、強制出力、起動、停止などの操作は十分安全を確認してから行ってください。操作ミスにより機械が動作し、機械の破損や事故の恐れがあります。
 V808CH が故障することにより、人命に関わったり重大な損失の発生が予測される設備への適用に際して け必ず安全装置を設置してください。
 V808CHを廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。 V808CHに触れる前には、接地された金属などに触れて、人体などに帯電している静電気を放電させてく
ださい。過大な静電気は、誤動作、故障の原因となります。 • CF カードを本体に挿す際は、挿入面を間違えることのないよう、ご注意ください。万が一、誤った向きの
 まま CF カードを挿し込むと、CF カードまたは本体ソケットが破損する可能性があります。 CF カード電源供給中、CF カードカバー内の LED ランプは赤色に点灯します。LED 点灯中に CF カードを抜いたり 本体の電源を OFF すると CF カード内のデータが破損する恐れがあります。CF カードを抜く
または本体の電源をOFF する場合は、LEDの消灯を確認した上で行ってください。

【一般的な注意事項】

- 制御線・通信ケーブルは、動力線・高圧線と一緒に束ねたり、近接した配線にしないでください。動力線・ 高圧線とは 200 mm 以上を目安に離してください。ノイズによる誤動作の原因となります。
- 高周波ノイズを発生させるような機器を使用した環境で接続する場合には、通信ケーブルの FG シールド線を 両端で接地することをお奨めします。ただし通信が不安定な場合は、使用環境に応じて、両側を接地する方 法と片側を接地する方法を選んでご使用ください。
- V808CHの各端子台、ソケットは正しい方向に差し込んでください。故障・誤動作の原因となります。
- 清掃の際、シンナー類は V808CH 表面を変色させることもあるので、市販のアルコールをご使用ください。
- V808CHと接続している相手機器(PLC、温調器など)をV808CHと同時に立ち上げた際、相手機器側で受信 エラーが発生した場合には、相手機器の説明書に従ってエラー解除を行ってください。
- 長時間の固定パターンでの表示は避けてください。液晶ディスプレイの特性上、長期残像が発生する可能性があります。長時間の固定パターンでの表示が想定される場合は、バックライトの自動 OFF 機能をご使用ください。

【液晶について】

以下の項目については、不良や故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- V808CHの応答時間、輝度、色合いは、使用環境温度により変動することがあります。
- 液晶の特性上、微妙な斑点(黒点、輝点)が生じることがあります。
- 液晶の明るさや色合いに個体差があります。
- 液晶はバックライトに冷陰極管を使用しているので、光学特性(輝度、色、ムラなど)が動作時間に依存して変化します。特に低温で変化します。

目次

はじめに

安全上のご注意

第1章 製品概要

1.	特長	1-1
2.	製品型式・周辺アクセサリ	1-2
	本体型式	.1-2
	- 1 - ニー・ 周辺アクセサリ	.1-3
3.	システム構成	1-5
	V808iCH / V808CH のシステム構成	.1-5

第2章 仕様

1.	仕様	
	一般仕様	2-1
	改 単 11 体	2-2
	ないむはな	2-2 2_2
	ファンクションスイッチ什様(SYSTEM F1~F7)	2-2 2-2
	クリンフランス イッチ (SW1 ~ 4)	2-3
	非常停止スイッチ仕様	
	デッドマンスイッチ仕様	
	キースイッチ仕様 (オプション)	2-4
	インターフェース仕様	2-4
	時計およびバックアップメモリ仕様	2-4
	作画環境	2-5
	表示機能仕様	2-5
	機能性能仕様	2-6
2.	外観	
	V808CH / V808iCH 外形寸法	2-7
3.	各部の名称とはたらき	
	V808CH / V808iCH の各部名称	2-8
4.	端子台	
	TB2	2-10
	TB3	2-11
	配線について	2-14
	ケーブルクランプの取り付け	2-16
5.	USB-B(USB スレーブポート)	2-17
	USB-B(USB スレーブポート)	2-17
	USB ケーブルの取付	2-22
6.	LAN コネクタ (LAN)	2-23
		2-23
	記線について	
7.	CF カード	
-	CE カード内蔵ソケット	2-25
	CFカード取り扱い上の注意	2-25 2-25

第3章 設置

1.	取付方法	3-1
	取付方法	3-1
2.	電源ケーブルの配線	3-2
		3-2
	アースの配線	3-2

第4章 本体各部の取扱

1.	コイン型リチウム電池(V7-BT)	4-1
	電池の役割	4-1
	電池セット方法	4-1
	電池電圧低下検出機能	4-2
	電池の交換について	4-3
2.	ディップ / スライドスイッチ	4-6
	ディップ / スライドスイッチの設定	4-6
3.	ファンクション / 外部出力スイッチ	4-7
	種類	4-7
	各スイッチの機能	4-7

第5章 本体操作方法

1.	操作の前	זוב	
	運転開	始(RUN)までの流れ	5-1
	新品へ	の画面データ転送	5-2
2.	メイン画	面	5-3
	[メイン	∠画面]への切り替え方法	5-3
	[メイン	/画面] について	5-3
	[メイン	ノメニュー」 スイッチ	5-4
	1	2回面」の構成 RIN	
	2	言語切換	5-5
	3	通信パラメータ	5-6
	4.	Ethernet	
	4-1.	 V808CH の IP アドレス設定	5-8
	5.	SRAM / 時計	5-11
	5-1.	日付と時刻合わせ	5-12
	5-2.	SRAM のフォーマット	5-12
	5-3.	日本語変換 学習/ユーザー単語領域	5-13
	6.	拡張プログラム情報	5-14
	7.	カード転送	5-15
	7-1.	CF カード内のフォルダ構成	5-16
	7-2.	CF カードからの画面データ転送方法	5-17
	7-3.	SRAM のバックアップ方法	5-22
	7-4.	Ethernet テーブルの転送方法(開発中)	5-24
	7-5.	CF カード内のデータの消去	5-25
	7-6.	データ転送時のメッセージダイアログ(V808CH ~ CF カード間)	5-26
	8.	I/O テスト	5-27
	8-1.	セルフループテスト	5-28
	8-2.	プリンタテスト	5-31
	8-3.	SYSTEM & ファンクションスイッチテスト	5-31
	8-4.	キースイッチテスト	5-32
	8-5.	デッドマンスイッチテスト	5-32
	8-6.	タッチスイッチテスト	5-33
	9.	拡張機能設定	5-35

第6章 エラー処理

1.	エラース	メッセージ	6-1
	1.	通信エラー	6-1
	2.	Data Loading	6-3
	3.	Warning	6-4
	4.	タッチスイッチが動作しています	6-4
	5.	SYSTEM ERROR	6-5
2.	トラブノ	レシューティング	6-6
	エラー	-が発生したら	6-6
	よくお	5る症状一覧	6-6

第7章 保守と点検

1.	保守・点検	
	日常の点検	7-1
	C 期点検	7-1
2.	アフターサービス	
	故障かな?と思ったら	7-2
	保証期間	
	無償修理	7-2
	有償修理	7-2
	問い合わせ用紙フォーマット	7-3

第8章 V-SFTの設定

1.	ハンディ設定	. 8-1
	設定	8-1
2.	マクロ	. 8-2
3.	システムメモリ(\$s)	. 8-3



- 1. 特長
- 2. 製品型式・周辺アクセサリ
- 3. システム構成

1. 特長

V808CH は、V608CH の機能を継承し、以下を特長とします。

1. 8Way 通信対応(V808iCHのみ)

Ethernet による接続(最大8プロトコル)、シリアルによる接続(最大2プロトコル)を組み合わせて、最大8機種の異機種・他メーカーのPLC及びその他周辺機器との接続が、1台のV808CHで可能です。

8機種の機器との同時通信、各機器間のデータ受け渡しを可能にします。

接続構成例:シリアル2ポート + Ethernet 混在接続



- 65536 色表示対応
 65536 色(ブリンクなし、ブリンクありの場合は 32768 色)の高画質表示が可能です。
 写真(JPEG)やイラスト(ビットマップ)などをリアルに表示することで、視認性が向上し、 オペレーターの状況判断を容易にします。
- ストロークフォント対応 標準フォントと異なり、デバイスの解像度に依存せず、自由に拡大縮小ができ、美しい文字表現 を可能にします。
- 16 言語切り替え可能
 RUN 中に最大 16 言語の切り替えが可能です。画面データの転送をし直す必要がありません。
- コンポーネントパーツによる画面作成工数の削減 コンポーネントパーツとは、必要な機能やマクロがすでに設定された複数の部品を1つの機能と してまとめ上げたパーツです。 高度な機能画面の作成も容易、かつスピーディーに実現します。
- PictBridge 対応プリンタに接続可能
 PictBridge に対応したプリンタに接続できます。
 USB ケーブルによる簡単印刷を実現します。

2. 製品型式・周辺アクセサリ

本体型式

本体型式には以下のような意味があります。



* エディタ上の設定に関係なく、V808CH本体上は常に操作可能な状態です。

本体型式の種類は以下のとおりです。

〈アナログ抵抗膜方式タッチパネル〉

シリーズ	型式	仕様	備考	
	V808CH0		ット、標準品、DC 電源仕様、	
	V808CH1	TFT カラー、640×480 ドット、標準品、DC 電源仕様、		
	V808CH2			
V808CH3				
V808CH シ	V808CH4	- - - TFT カラー、640 × 480 ドット、標準品、DC 電源仕様、 - LAN ポートあり		
リース 7.5 インチ	V808iCH0			
1	V808iCH1			
	V808iCH2		-、640 × 480 トット、標準品、DC 電源仕様、 トあり	
	V808iCH3			
	V808iCH4			

周辺アクセサリ

V808CHのオプションは以下のとおりです。

作画ツール



V-SFT-5(作画ソフト:日本語版) 画面データを作成するソフトウェアです。

対応 OS Windows 98SE/ NT4.0/ Me/ 2000/ XP/ XP64Edition/ Vista 32bit/ Vista 64bit/ 7 32bit/ 7 64bit

ケーブル



V8H-C(外部接続ケーブル)
V808CHと各コントローラとの接続や電源供給用のケーブルです。
V808CH側は棒端子、相手接続先側はバラ線です。
V8H-C3 : 3m
V8H-C5 : 5m
V8H-C15 : 15m
V8H-C20 : 20m (RS-232C 接続する場合、使用不可)



UB-FR (USB-B ポート用) 1 m USB-B (スレーブ) 用の盤面出しケーブルです。

その他オプション



V8H-SWG (スイッチガード) 非常停止スイッチを保護するためのカバーです。



V6H-WF(壁掛け用金具セット) 壁に掛けて使用する場合の金具です。 V808CH側と壁側の金具がセット(2枚組)になっています。



V6H-WF1(壁掛け用金具(壁側のみ)) 壁に掛けて使用する場合の壁側の金具(1枚)です。 1





三菱電機(株)製 ACPU/QnACPU/FXCPU のプログラマ用コネクタを2ポートにするため のユニットです。三菱電機(株)製 ACPU/QnACPU/FXCPU に V808CH を直結する場合 に使用すると便利です。

3. システム構成

V808iCH / V808CH のシステム構成



^{*} Ethernet 通信は、V808iCH のみ対応しています。





- 1. 仕様
- 2. 外観
- 3. 各部の名称とはたらき
- 4. 端子台
- 5. USB-B (USB スレーブポート)
- 6. LAN コネクタ (LAN)
- 7. CF カード

1. 仕様

·般仕様

項目			
適合規格	CE マーキング	EN61000-6-2 EN61000-6-4	
	電圧許容範囲	DC24 V ± 10% ^{*1}	
	許容瞬時停電時間	DC24V 時 1 ms 以内	
電源	消費電力 (最大定格)	10 W 以下	
	突入電流	15 A, 1.5 ms 以下(DC24V 入力)	
	耐電圧	DC 外部端子と FG 間 : AC500 V、1 分間	
絶縁	抵抗	DC500 V、10 MΩ以上	
	使用周囲温度	$0^{\circ}C \sim +40^{\circ}C^{2}$	
	保存周囲温度	−10°C ~ +60°C ^{*2}	
職	使用周囲湿度	85%RH 以下(結露なきこと) ^{*2}	
里的班	保存周囲湿度	85%RH 以下(結露なきこと) ^{*2}	
祾	使用高度	標高 2000 m 以下	
	使用雰囲気	腐食性ガスがなく、塵埃がひどくないこと、および導電性の塵埃がないこと	
	汚染度 ^{*3}	汚染度 2	
減的 動条在	耐振動	振動周波数 : 10 ~ 150 Hz、加速度 : 9.8 m/s ² (1G)、片振幅 : 0.075 mm、 X, Y, Z : 3 方向 各 1 時間	
楼隊	耐衝撃	パルス波形 : 正弦半波、ピーク加速度 : 147 m/s ² (15G)、X, Y, Z : 3 方向、各 6 回	
電気的 稼働条件	耐ノイズ	ノイズ電圧 1000 Vp-p、パルス幅 1 μs、立ち上がり時間 : 1 ns (ノイズシミュレータによる計測値)	
	耐静電気放電	IEC61000-4-2 に準拠、接触 6 kV、気中 8 kV	
設 全 生	質量	約 1.2 kg	
	外形寸法 WxHxD	259.0 × 232.0 × 55.0 mm(非常停止スイッチ除く)	
ケース色		黒	
材質		PC / ABS 樹脂	

*1 DC24V 入力機は必ず Class2 電源をご使用ください。

*2 最大湿球温度 39℃以下

*3 本製品を使用した環境における導電性物質の発生度合いを示す指標です。 「汚染度 2」は、非導電性の汚染のみ発生する状況を示します。ただし、凝結によって一時的な導電が起こり うる環境です。

CE マーキングについて

- V808CH の DC 電源品は、EMC 指令に適合した製品です。 EN61000-6-2、EN61000-6-4 に適合しています。
- V808CHは「ClassA」工業環境商品です。住宅環境で使用する場合、電波妨害の原因となる可能 性があるため、電波妨害に対する適切な対策が必要となります。

設置仕様

項目	仕様
接地	D 種接地(第3種接地)、FG / SG 分離
保護構造	IP65 準拠(I/F カバー、CF カードカバー、LAN カバー装着時、V8H-C 接続時)
冷却方式	自然空冷
構造	一体型

表示部仕様

r	
項目	仕様
表示デバイス	TFT カラー
表示サイズ	7.5 インチ
表示色	65,536 色(ブリンクなし) 32,768 色(ブリンクあり) 128 色(ブリンクあり)
表示分解能 (横 × 縦)	640×480 ドット
ドットピッチ (W×H)	$0.36 \times 0.36 \text{ mm}$
バックライト	冷陰極管(ユーザによる交換不可能)
バックライト寿命 (管単体平均寿命)	約 50,000 h (常温 25 °C)
バックライト自動消灯機能	常時点灯、任意設定
輝度調整 ^{*1}	ファンクションスイッチ:3 段階 / マクロ:128 段階
POWER ランプ(POWER)	点灯 : 正常(緑) 点滅 : バックライト異常
OPERATION ランプ(OP.)	点灯 : 操作可(緑) 消灯 : 操作不可

*1 本体ハード Ver.a : なし 本体ハード Ver.b 以降かつ本体 prg. Ver. 1.670 より前: なし 本体ハード Ver. b 以降かつ本体 prg. Ver. 1.670 以降 : あり

タッチスイッチ仕様

項目	アナログ抵抗膜方式
スイッチ数	1024 × 1024
機械的寿命	100 万回以上
表面処理	ハードコート、ノングレア処理 5%

ファンクションスイッチ仕様 (SYSTEM、F1 ~ F7)

項目	仕様
構成数	8 個
方式	メンブレンスイッチ
機械的寿命	100 万回以上

外部出力スイッチ仕様(SW1 ~ 4)

項目	仕様
構成数	4 個
方式	メンブレンスイッチ
機械的寿命	100 万回以上
出力形態	シンク出力
定格電圧	DC12 ~ 24V
最大ドライブ電流	50 mA
出力保護	なし
絶縁方式	フォトカプラ絶縁

非常停止スイッチ仕様

項目	仕様
構成数	1個
方式	プッシュロック方式(b 接点、2 回路)
機械的寿命	10 万回以上
定格電圧	DC 24V
定格電流	1A(負荷抵抗)
適用規格	CSA C22.2 No.14、EN418 適合

デッドマンスイッチ仕様

モーメンタリ

項目	仕様
構成数	1個
方式	モーメンタリ
機械的寿命	100 万回以上

3 ポジション

項目	仕様
構成数	1個
方式	3 ポジション(a 接点、2 回路 *)
機械的寿命	OFF → ON : 100 万回以上 OFF → ON → OFF : 10 万回以上
定格電圧	DC 24V
定格電流	1A(負荷抵抗)
適用規格	IEC60947-5-1、EN60947-5-1、CSA C22.2 No.14

* V808CH4のみ。V808CH2/V808CH3は1回路。

仕様

キースイッチ仕様(オプション)

項目	仕様
構成数	1個
接点数	a 接点、1 回路
機械的寿命	25 万回以上
電気的寿命	10 万回以上(開閉頻度:1200回/時)

インターフェース仕様

項目			仕様
	適用規格		RS-232C
TB2(端子台)	同期方式		調歩同期方式
	データ長		7、8ビット
	パリティ		なし、偶数、奇数
	ストップビット		1、2ビット
	伝送速度		4800、9600、19200、38400、57600、76800、115 kbps
	用途		PLC、温調器、バーコード接続など
	適用規格		RS-422(4 線式)、RS-485(2 線式)
	同期方式		調歩同期方式
	データ長		7、8ビット
TB3 (炭スム)	パリティ		なし、偶数、奇数
	ストップビット		1、2ビット
	伝送速度		4800、9600、19200、38400、57600、76800、115 kbps (MPI 接続時 187500 bps [*])
	用途		PLC、温調器、V-Link 接続など
	۵	適用規格	USB Ver. 1.1 準拠
USB コネクタ (USB-B)	SB-	伝送速度	ロースピード 1.5Mbps、フルスピード 12Mbps
	S	用途	画面データ転送、PictBridge 対応プリンタ接続
Ethorpot #	適用規格		IEEE802.3u 準拠 (100BASE-TX)、IEEE802.3 準拠 (10BASE-T)
100BASE-TX / 10BASE-T (LAN)	伝送速度		100 Mbps, 10 Mbps
	推奨ケーブル		100 Ω UTP(アンシールドツイストペア)、カテゴリー 5、最大長 = 100 m
	用途		PLC 接続など
CF カード内蔵ソケット			CompactFlash TM 準拠

* 詳細は『V8 シリーズ 接続マニュアル』を参照してください。

時計およびバックアップメモリ仕様

	仕様			
項日	V808iCH	V808CH		
電池仕様	コイン型リチウム1次電池			
バックアップメモリ (SRAM)	512 kbyte 128 kbyte			
バックアップ期間	約5年 (周囲温度 25 °C)			
電池電圧低下検出機能	あり (内部メモリ \$s167 割付)			
カレンダ精度	月差 ±90 秒 (周囲温度 25°C) [*]			

* 周囲温度 25 ℃の無通電状態(電池バックアップ時)において、誤差は 1ヶ月± 90 秒です。周囲温度によって、1ヶ月最大 -356 秒~ 189 秒の誤差が生じることもあります。定期的に時計修正を行ってください。

作画環境

項目	仕様			
作画方式	専用作画ソフトウェア			
作画ツール	専用ソフトウェア名: V-SFT-5 コンピュータ本体: Pentium III 800 MHz 以上(推奨 Pentium IV 2.0 GHz 以上) OS: Windows98SE/ NT4.0/ Me/ 2000/ XP/ XP64 Edition/ Vista 32bit/ Vにする4bit/7 32bit/7 64bit Vista 64bit/7 32bit/7 64bit ハードディスク容量: 空き容量約1 Gbyte 以上 メモリ: 512 Mbyte 以上 ディスプレイ: 解像度 1024 × 768 以上 画面の色 16 ビット以上			

表示機能仕様

項目		仕様				
表示言語 ^{*1}		日本語	英語 / 西欧	中国語 (繁体字)	中国語 (簡体字)	韓国語
表示可能文字	1/4 角、半角	ANK コード	Latin1	ASCII ⊐ード	ASCII コード	ASCII ⊐ード
	全角 16 ドット	JIS 第 1, 2 水準	_	中国語 (繁体)	中国語 (簡体)	ハングル (漢字不可)
	全角 32 ドット	JIS 第 1 水準	-	_	_	_
フォントの種類	頁	Windows フォント ストロークフォント				
	1/4 角			8×8 ドット		
	半角			8×16 ドット		
文字サイズ	全角		16×16 ド	ットまたは、32×	32 ドット	
	文字拡大率	X:1~8倍 Y:1~8倍 ポイント数 ^{*2} :8、9、10、11、12、14、16、18、20、22、24、26、28、36、48、72				
	表示分解能	640 × 480				
主二士宣教	1/4 角	横 80 文字 × 縦 60 行				
衣示义子剱	半角	横 80 文字 × 縦 30 行				
	全角	橫 40 文字 × 縦 30 行				
支空尾姓 表示属性		標準、反転、ブリンク、強調、彫刻、透過				
大于周日	文字色	65,536 色(ブリンクなし)、32,768 色(ブリ			色(ブリンクあり)	
は 白 ぶ ほ *3 16 ドットフォン		全角 16 × 16 ドット、63 個				
小子豆稣	32 ドットフォント	全角 32 × 32 ドット、63 個				
	直線系	直線、連続直線、矩形、平行四辺形、正多角形				
図形種類	曲線系		円、円	円、円弧、扇形、楕円、楕円弧		
	その他	タイルパターン				
	線種	直	〔線6種(細線、太	6 種(細線、太線、点線、1 点鎖線、破線、2 点鎖線)		
図形属性	タイル	16 種(ユーザー側で 8 種設定可能)				
	表示属性	標準、反転、ブリンク				
	表示色	65,536 色(ブリンクなし)、32,768 色(ブリ			あり)、128 色(ブ	(リンクあり)
	色の指定	表示色、背景色、境界色(線色)				

*1 他に次のフォントが使用できます。 ゴシック、英語 / 西欧ゴシック、英語 / 西欧明朝、中央ヨーロッパ言語、キリル言語、ギリシャ語、トルコ語 詳しくは『V8 シリーズ リファレンスマニュアル』を参照してください。

*2 ゴシック、Windows フォント、ストロークフォントを使用した場合です。 *3 日本語のみ設定可能です。

機能性能仕様

項目		仕様			
登録画面数		最大 4000 ^{*1}			
画面メモリ(FLASH メモリ)		V808iCH : 約 12.5 Mbyte、V808CH : 約 4.5 Mbyte (フォントにより増加あり)			
スイッチ		1024 / 画面			
スイッチ動作	モード	セット、リセット、モーメンタリ、オルタネート、照光式 ファンクションスイッチとディスプレイ上スイッチの2カ所同時押し可			
ランプ		反転、ブリンク、図形の入れ替え 1024 / 画面			
グラフ		円・棒・パネルメータ・閉領域グラフ : 制限なし ^{*2} 統計・トレンドグラフ :各 256 / レイヤー ^{*3}			
	数值表示	制限なし ^{*2}			
データ設定	文字列表示	制限なし ^{*2}			
7—9設定	メッセージ表示	表示分解能: 最大半角 80 文字 制限なし ^{*2}			
サンプリング		バッファデータをサンプリング表示 (定時サンプル、ビット同期、ビットサンプル、リレーサンプル、アラーム機 能)			
グラフィック	ライブラリ	最大 2560			
オーバーラッ	プライブラリ	最大 4000			
データブロッ	ク	最大 1024			
メッセージ		最大 32768 行			
パターン		最大 1024			
マクロブロッ	ク	最大 1024			
ページブロッ	ク	最大 2048			
ダイレクトブ	゙ロック	最大 1024			
スクリーンブ	゙ロック	最大 1024			
帳票		最大 1024			
スクリーンラ	イブラリ	最大 4000			
コメント		最大 32767			
転送テーブル		最大 32 x 8(PLC1 ~ 8)			
時刻表示		あり			
ハードコピー		あり			
ブザー		あり2種(断続短音、断続長音)			
自動消灯機能		常時点灯、任意設定			
自己診断機能		スイッチのセルフテスト機能 通信条件等の設定状態確認機能 通信チェック機能			

*1 本体に登録できる枚数は最大 4000 枚です。 登録画面数について、詳しくは『V8 シリーズリファレンス追加機能』を参照してください。

- *2 設定メモリ数は 1024/ 画面の制限があります。詳しくは、『V8 シリーズ オペレーションマニュアル』を参照 してください。 *3 レイヤー:1画面に4枚(ベース画面、オーバーラップ3枚)

2. 外観

V808CH / V808iCH 外形寸法









• 背面図



3. 各部の名称とはたらき

V808CH / V808iCH の各部名称



- デッドマンスイッチ V808CHの操作をロックします。スイッチ押下時、操作可能になります。
- キースイッチ(オプション)
 V808CHの操作をロックします。キーを ON に回した時、操作可能になります。
- OPERATION ランプ(OP.) 操作可能時は緑色に点灯、操作不可時は消灯します。
- POWER ランプ(POWER)
 V808CH に電源が供給され、正常に動作している状態で緑色に点灯します。
 バックライト異常時(バックライト切れなど)に点滅します。
- 5. ファンクションスイッチ RUN/STOP の切替を行います。また、RUN 中はユーザースイッチとして使用することができま す。
- 外部出力スイッチ スイッチ押下時、外部出力します。
- 非常停止スイッチ 非常停止を行う場合に使用します。スイッチ押下時、外部出力します。
- ディスプレイ 表示部です。
- ケーブル挿入口 通信、電源などのケーブル挿入口です。
 (弊社製 V808CH専用ケーブル V8H-C□推奨。□=長さ:3、5、15、20m)
- 10. 100BASE-TX/10BASE-T 用コネクタ(LAN) Ethernet 接続する際に使用します。(V808iCH のみ)
- 11. CF カード内蔵ソケット(CF) CF カードを挿入できます。

2-8

- 12. 電池 SRAM および時計をバックアップするための電池です。 電池電圧低下の際は、交換用電池「V7-BT」と交換してください。
- 13. USB-B (スレーブポート) 画面データ転送および PictBridge 対応のプリンタを使用する場合に接続するコネクタです。
- 14. USB ケーブル固定用穴 USB ケーブルを固定するためのインシュロック取り付け穴です。
- 15. 電源入力端子台(TB1) V808CH に電源(DC 24 V)を供給するための端子台です。
- 16. 端子台(TB2) PLC やその他周辺機器と RS-232C 接続やファンクションスイッチ外部出力が行えます。
- 17. ディップスイッチ TB3 の RS-422/485 信号ラインの終端抵抗を設定します。
- 18. 端子台(TB3)

PLC やその他周辺機器と RS-422/RS-485 接続やデッドマンスイッチ、非常停止などの外部出力 が行えます。

仕様

4. 端子台

各コントローラとシリアル通信(RS-232C、RS-422/485)や外部出力することができます。



TB2

TB2 端子台のピン番号と信号名は下図のとおりです。

TB2	ピン番号	信号名	内容
	1	TXD	RS-232C 送信データ
	2	RXD	RS-232C 受信データ
	3	RTS	RS-232C 送信要求
	4	CTS	RS-232C 送信可
	5	SG	シグナルグランド
	6	D01	外部出力スイッチ SW1
	7	D02	外部出カスイッチ SW2
ă	8	D03	外部出カスイッチ SW3
	9	D04	外部出カスイッチ SW4
	10	DCOM-	外部出力用 COM

RS-232C 接続

各コントローラと RS-232C 接続する場合の配線方法については、「RS-232C、RS-422/485 配線について」(P 2-15)を参照してください。

外部出力スイッチ SW1 ~ 4

D01 ~ 04 (6~10 ピン)で外部出力スイッチ SW1~4の信号を外部出力することができます。

項目	仕様
構成数	4 個
方式	メンブレンスイッチ
機械的寿命	100 万回以上
出力形態	シンク出力
定格電圧	DC12 ~ 24V
最大ドライブ電流	50 mA
出力保護	なし
絶縁方式	フォトカプラ絶縁
回路構成	TB2 D04 負荷 220 D01 負荷 + DCOM- DC12~24V

TB3

TB3 端子台のピン番号と信号名は下図のとおりです。



* RS-422/485 接続時、外部終端抵抗用の電源(+5V)として使用します。外部供給電源としては 使用できません。

非常停止スイッチ

EMG1、2(1~4ピン)で非常停止スイッチの信号を外部出力することができます。

項目	仕様		
構成数	1個		
方式	プッシュロック方式(b 接点、2 回路)		
機械的寿命	10 万回以上		
定格電圧	DC 24V		
定格電流	1A(抵抗負荷)		
適用規格	CSA C22.2 No.14、EN418 適合		
回路構成	TB3 EMG1 EMG1 EMG2 EMG2 EMG2		

デッドマンスイッチ (3 ポジション)

ENB1、2(5~8ピン)で3ポジションデッドマンスイッチの信号を外部出力することができます。

項目	仕様			
構成数	1 個			
方式	3 ポジション(a 接点、2 回路 *)			
機械的寿命	OFF → ON : 100 万回以上 OFF → ON → OFF : 10 万回以上			
定格電圧	DC 24V			
定格電流	1A(抵抗負荷)			
適用規格	IEC60947-5-1、EN60947-5-1、CSA C2	2.2 No.14		
	1 回路	2 回路		
回路構成	デッドマンスイッチ TB3 ENB1 ENB1 ENB1 ENB2 ENB2 ENB2	デッドマンスイッチ TB3 ENB1 ENB1 ENB2 ENB2		

* V808CH4のみ。V808CH2/V808CH3は1回路。

キースイッチ

KEY (9、10 ピン) でキースイッチの信号を外部出力することができます。

項目	仕様		
構成数	1 個		
接点数	a 接点、1 回路		
機械的寿命	25 万回以上		
電気的寿命	10 万回以上(開閉頻度:1200 回 / 時)		
定格電圧	DC 24V		
定格電流	1A(抵抗負荷)		
回路構成			

RS-422/485 接続

各コントローラと RS-422/485 接続する場合の配線方法については、「RS-232C、RS-422/485 配線 について」(P 2-15)を参照してください。
配線について

ケーブル仕様

• 推奨ケーブル

弊社製通信ケーブル: V8H-C□ (□:3,5,15,20m)

* 市販のケーブルを使用する場合、外径は ϕ 6 mm ~ 12 mm のものをご使用ください。

• 端子台の締め付けトルク

ネジサイズ	締め付けトルク	芯線径
M2	0.28 N ∙m	単線 : 0.14m ㎡~ 1.5 m ㎡(AWG16 ~ 26) 撚線 : 0.14m ㎡~ 1.0 m ㎡(AWG18 ~ 26)

• 推奨棒端子

メーカー	型式
フェニックス・コンタクト(株)	AI0.25-6YE AI0.346-TQ AI0.5-8WH

電源ケーブル

電源ケーブルの配線について、詳しくは「第3章 設置」の「2. 電源ケーブルの配線」(P3-2)を 参照してください。

通信ケーブル



RS-232C、RS-422/485 配線について

各コントローラとの配線図については、『V8 シリーズ 接続マニュアル』を参照してください。 V808CHの端子台 TB2(RS-232C)、TB3(RS-422/485)の信号名と『V8 シリーズ 接続マニュア ル』の結線図 CN1 側の信号名を合わせて配線してください。 (CN1 のピン No. は無視してください。)

- (例) 三菱電機 QnH (Q) シリーズリンク接続
 - RS-232C の場合



• RS-422/485 の場合



* マルチリンク2接続する場合は、PLCとRS-232C接続している場合のみ、可能です。

ケーブルクランプの取り付け

V808CH に通信ケーブルを接続する場合、環境によってはケーブルが抜けることがあります。 抜けを防止するために、本体に付属のケーブル専用ケーブルクランプを使用します。

ケーブル固定用部品(付属品)



ケーブル固定方法

 ネックストラップとケーブルクランプは、V808CH 背面右下または左下いずれかの取り付け 穴を使って固定します。



ネックストラップの金具とケーブルクランプを重ねて置き、締め付けネジ1個で取り付けます。



5. USB-B (USB スレーブポート)

USB-B(USB スレーブポート)

画面データの転送*や PictBridge 対応プリンタとの接続には USB-B を使用します。



* 必ず V8 シリーズ専用 USB ドライバをインストールする必要があります。インストール手順に ついては、「画面転送用ドライバのインストール手順」(P2-18)を参照してください。

プリンタ(PictBridge)

PictBridge 対応のプリンタを接続し、画面のハードコピーや履歴データ、帳票印刷が行えます。

接続構成例



* 市販の USB ケーブルをご使用ください。USB ケーブルはシールドありツイストペアケーブル 5M を推奨 します。

接続可能プリンタ

PictBridge 規格に対応したプリンタであれば接続可能です。

V-SFT-5 の設定

[システム設定]→[接続機器設定]→[その他]→[プリンタ]にて、[印刷方向]や[白黒反転]などの設定が行えます。

仕様

画面転送

USB-B(USB スレーブポート)を使って画面データの転送が行えます。 必ずパソコン側で V8 シリーズ専用 USB ドライバをインストールします。インストール手順につい ては後述「画面転送用ドライバのインストール手順」(P2-18)を参照してください。

接続構成例



- *1 市販の USB ケーブルをご使用ください。USB ケーブルはシールドありツイストペアケーブル 5M を推 奨します。
- *2 Windows98 で USB を使用する場合は、Windows98 Second Edition 以降でお使いください。

画面転送用ドライバのインストール手順

例として、WindowsXP 上でのインストール手順を説明します。

- 1. 電源を投入している V808CH の USB-B ポートと、起動しているパソコンを USB ケーブルで接続します。
- パソコン上に「新しいハードウェアが見つかりました」とメッセージが出た後で、ドライバのインストールウィザードが表示されます。





 以下のダイアログが表示されたら、[一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選 択し、[次へ]をクリックします。



 以下のダイアログが表示されます。[検索しないで、インストールするドライバを選択する]を 選択し、[次へ]をクリックします。



5. 以下のダイアログが表示されます。[次へ]をクリックします。

ードウェアの種類		
ハードウェアの種類を選択して D	ペー] をクリックしてください。	
共通ハードウェアの種類(出):		
すべてのデバイスを表示		<u>^</u>
1394 Debugger Device の1394 バスホストコントロー	;	
61883 デバイス クラス		
AVC デバイス クラス Bandwater the		
Bluetooth Radios		
m Diustobul i tabios		

6. 以下のダイアログが表示されます。[ディスク使用]をクリックします。

新しいハードウェアの検出ウィザード					
このハードウェアのためにインストールするデバイス ドライバを選択してください。					
ハードウェア ギバイスの製造元とモデルを選択し イスカがある場合は、(ディスカ(使用)をカリックして ▼ 国換性のあるハードウェアを表示(空)	、て しなへ】をクリックしてください。インストールするドライバのデ ください。				
Operation Panel USB Driver Operation Panel USB Driver					
このドライバはデジタル署名されていません。 ドライバの署名が重要な理由	ディスク使用(出)				
	〈戻る⑥ 次へ心〉 キャンセル				

7. [フロッピーディスクからインストール] ダイアログが表示されます。[参照] をクリックします。

70%2~	ディスクからインストール
3	製造元が配布するインストールディングを指定したドライブに挿入 して、下の正しいドライブが選択されていることを確認してください。 キャンセル
	製造元のファイリルのコヒ~元(2):

仕様

8. USB ドライバ「OP-U.inf」は、V-SFT-5 のインストールフォルダ(例「V-SFT V5」)内の「INF」 フォルダ内に格納されています。

ここで、「OP-U.inf」ファイルを選択し、[開く]をクリックします。

	ファイルの場所					? 🛛
Windows 7 32 ビット版 —	ファイルの場所①:	🗀 INF		 G Ø 	۳ 🔁	
Windows 7 64 ビット版 —		Seven32				
Windows Vista 32 ビット版 —		- Vista32				
Windows Vista 64 ビット版 <i>—</i>	UT	- XP				
Windows XP-	7,201-17	OP-U.inf				
Windows XP 64 ビット版/	11 F#1X/					
Windows XP 以前の OS 🦯						
	マイ コンピュータ					
	S					
	マイ ネットワーク	ファイル名(凹):	OP-U.inf		~	
		ファイルの種類①	セットアップ情報 (*.inf)		~	キャンセル

9. 以下のように、元のダイアログに戻ります。[製造元のファイルのコピー元] のパスを確認した 上で [OK] をクリックします。



10. 以下のダイアログが表示されます。[モデル] 欄に [Operation Panel USB Driver] と表示されて いることを確認し、[次へ] をクリックします。

新しいハードウェアの検出ウィザード	
このハードウェアのためにインストールするデバイス ド	ライバを選択してください。
 ハードウンア デバイ2の製造元とモデルを選択し、 イスクがある場合は、「テイス3使用」をクリックし、 マ 互換性のあるハードウェアを表示(2) モデル Operation Panel USB Driver 	、アロペン をクリックしてください。インストールするドライバのデ ください。
 このドライバはデジタル署名されていません。 ドライバの署名が重要な理由 	ディスク使用(出)
	〈戻る個) (次へ(N)) キャンセル

11. インストールが開始されます。



12. 以下のダイアログが表示されたら、インストールは完了です。[完了]をクリックします。



USB ドライバの確認

正常にドライバがインストールされた場合、[デバイスマネージャ]において、「Operation Panel - Operation Panel USB Driver」と表示されます。

昌 デバイス マネージャ	
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)	
○ ○ CECH-DELL ● ○ DVD/C0-ROM ドライブ ● ○ Operation Panel ● ○ ○ ● <td< td=""><td></td></td<>	

この項目は USB の接続を中止すると消えます。

USB 接続しているにも関わらず、この項目が「不明なデバイス」と出ていたり、「?」マークで表示 されている場合は、正常に USB ドライバが認識されていません。USB ドライバを削除し、再度、イ ンストールを実行してください。 白藻

USB ケーブルの取付

V808CH に USB ケーブルを接続する場合、環境によってはケーブルが抜けることがあります。 抜けを防止するために、本体に付属の USB ケーブル専用インシュロックを使用します。

USB ケーブル固定用部品(付属品)



USB ケーブル固定方法

図のように取り付け穴にインシュロックを通し、USB ケーブルを固定します。



* USB ケーブルを固定した場合、V808CHの I/F カバーを閉じることはできません。

2-22

6. LAN コネクタ (LAN)

LAN コネクタ

Ethernet 対応の各コントローラと LAN コネクタで接続できます。 100BASE-TX/10BASE-T をサポートしています。



LAN のピン番号と信号名は下図のとおりです。 仕様:IEEE802.3 (u) 準拠、UDP/IP および TCP/IP 対応

LAN	ピン番号	信号名	内容
	1	TX+	Ethernet 送信信号(+)
	2	TX–	Ethernet 送信信号(–)
	3	RX+	Ethernet 受信信号(+)
	4	NC	未使用
	5	NC	未使用
	6	RX–	Ethernet 受信信号(–)
	7	NC	未使用
	8	NC	未使用

配線について





ケーブル配線図







ケーブルについて

ケーブルは市販のケーブルをご使用ください。自作ケーブルを使用した場合、ネットワークが正常 につながらない可能性があります。

推奨ケーブル:100Ω UTP(アンシールドツイストペア)ケーブル、カテゴリー5

7. CF カード

CF カード内蔵ソケット

CFカードを使用し、画面転送や履歴データの保存、画像データの格納などが行えます。 CFカード内蔵ソケットは本体の側面にあります。



- スライドスイッチ CFカードの自動アップロードを行う場合、ONします。 (操作方法については、「第4章 本体各部の取扱」の「ディップ/スライドスイッチの設定」P 4-6を参照。)
- LED
 CFカード電源供給中、点灯します。
- イジェクトボタン CFカードを取り出す際に押します。



- 1. V808CH で認識できる CF カードは、ファイルシステム「FAT」、「FAT32」タイプです。
- CF カード電源供給中、CF カードカバー内の LED ランプは赤色に点灯します*。LED 点灯中は、 CF カードの抜き挿しを行わないでください。CF カード内のデータが破損する可能性があります。CF カードの抜き挿しは LED ランプの消灯を確認した上で行ってください。
- 3. CF カード電源供給中に本体電源は切らないでください。
- 4. CF カードのバックアップは定期的に行ってください。
- 万一ディスクエラーとなり、データの読み出し / 書き込みができなくなった場合は Windows に てスキャンディスクを実行し、ディスクを復旧させてください。 それでも復旧しない場合は、フォーマットを行ってください。なお、フォーマットを行うとデー タは完全に消去されます。(スキャンディスク、Windows の操作については Windows のマニュ アルを参照してください。)
- 6. CFカードは書き込み回数に制限(約30万回)があります。このため短い周期でCFカードへの 書き込みを行うとCFカードの寿命に影響があります。サンプリングデータの保存に使用する場 合はサンプリング時間の設定に注意してください。また、サイクルマクロで常時書き込みするような使用は避けてください。
- 7. 大容量の CF カード(2G 以上)を使用した場合は、V808CH がカードを認識するまでに時間が かかる場合があります。短時間での CF カードの抜き挿しは行わないでください。

白藻

CF カード着脱手順

- 1. CF カードカバーの締め付けネジ2箇所を取り外し、カバーを開けます。
- 下図のように本体側面からみて、CFカード裏面が手前になるように、CFカードをしっかり挿し込んでください。



CF カードを V808CH に挿す際は、挿入面を間違えないようにご注意ください。万 が一、誤った向きのまま CF カードを差し込むと、CF カードまたは本体ソケット が破損する可能性があります。



- 3. CF カードカバーを閉じ、締め付けネジ2箇所を取り付けます。LED ランプが赤色に点灯しま す。
- CFカードを取り出す時は、CFカードカバーを開け、LED ランプが消灯していることを確認して、イジェクトボタンを押します。CFカードが出てきます。



CFカードを取り出す場合は、必ず [CFカード取り出し]スイッチを押すか、[メイン] 画面に切り替えてから、行ってください。CFカード内のデータが壊れる可能性があります。



1. 取付方法

2. 電源ケーブルの配線

3-1

1. 取付方法

取付方法

オプションの壁掛け金具、または VESA 規格準拠の金具を使い、取り付けできます。

- 壁掛け金具(型式: V6H-WF)
 - 1) V808CH 背面の壁掛け金具取り付け穴と壁側に、それぞれ壁掛け金具を装着し、付属の締め 付けネジで固定します。(締め付けトルク値: 0.3~0.5 N•m)
 - 2) 壁側の壁掛け金具に V808CH の壁掛け金具を引っ掛けます。



- * 詳しくは、製品付属の取扱説明書を参照してください。
- VESA 規格準拠の固定金具(型式: V8H-WFV)
 - 1) V808CH 背面の固定金具取り付け穴に、固定金具を装着し、付属の締め付けネジで固定しま す。(締め付けトルク値: 0.3~0.5 N•m)
 - 2) V808CH 側の固定対象用取り付け穴に固定対象を取り付けます。



* 詳しくは、製品付属の取扱説明書を参照してください。

2. 電源ケーブルの配線

危険

感電の恐れがあります。 電源ケーブルの配線は電源が供給されていない状態で行ってください。

電源ケーブルの配線

電源ケーブルは本体背面の端子台 TB1 に接続します。



電源入力部端子台の端子ネジの締め付けは、0.28 N•m(2.8 kgf•cm)のトルク値で均等に締め付けて ください。

電源部の注意点

- 電源は許容電源電圧変動範囲内で使用してください。
- 線間および大地間ともノイズの少ない電源を使用してください。
- 電源線は電圧降下を小さくするために、できるだけ太い線を使用してください。
- 電源線は高電圧、大電流のケーブルとは近づけないように十分に離してください。

アースの配線



V808CH は、必ず接地をしてください。 (接地工事は D 種接地、接地抵抗 100 Ω 以下)

- アースは専用接地にしてください。
- 接地用のケーブル (A) には公称断面積 2 mm² 以上のものを使用してください。
- 接地点は本体の近くにし、接地用のケーブル(A)の距離を短くしてください。





- 1. コイン型リチウム電池 (V7-BT)
- 2. ディップ/スライドスイッチ
- 3. ファンクション / 外部出力スイッチ

1. コイン型リチウム電池(V7-BT)

工場出荷時、本体裏面の I/F カバー内の電池はコネクタがセットされていません。 注意 カレンダ機能および SRAM を使用する際は、必ず電池をセットしてください。 電源が供給されないと SRAM やカレンダの内容が保持されません。

電池の役割

SRAM ユーザメモリ領域(不揮発性メモリ \$L、\$LD やサンプリングデータなど)と内蔵時計のバックアップ用の電池です。

電池セット方法

- 1. V808CH 本体の電源を OFF します。
- 2. 4 箇所の締め付けネジを取り外し、I/F カバーを開けます。



3. 電池が I/F カバーの裏にしっかりと実装されていることを確認後、電池のコネクタを取り付けま す。

その後、電池ケーブルが端子台の配線の邪魔にならないよう、下図のように、電池ケーブルを、 電池ソケットのツメとその隣のバーの間に通します。



4-1

- 4. I/F カバーを閉じ、4 箇所を締め付けネジで留めます。
- 5. 注意シールの「電池交換予定日」欄に5年後の年月日を記入します。



6. V808CHの電源をONします。 電池がセットされていない場合、[メイン画面]下部中央に「電池未接続」のメッセージが表示 され、電池の電圧が低下した場合は「電池電圧低下」のメッセージが表示されます。



電池未接続時の[メイン画面]

電池電圧低下検出機能

V808CHの内部メモリ \$s167 に電池の状態が出力されます。

電池電圧が低下した場合、[メイン画面]の下部中央に「電池電圧低下」のメッセージを表示しま す。5年以内であっても電池電圧が低下した場合(4 ビット目が ON)は、速やかに電池を交換して ください。



電池の交換について

交換用電池が用意されています。

名称	型式	構成内容
交換電池	V7-BT	 コイン型リチウム1次電池1個 注意シール1枚

電池取扱上の安全上のご注意

リチウム電池はリチウムや有機溶媒などの可燃性物質を内蔵しているため、取扱いを誤ると、発熱、 破裂発火などにより、けがをしたり、火災に至る恐れがあります。万が一の事故を防止するため、 下記の注意事項を守ってお取扱いくださいますようお願いいたします。

⚠ 注意	 電池の交換は人体に溜まっている静電気を放電して行ってください。 電池は弊社製「V7-BT(交換電池)」を使用してください。 電池単品で酷使すると、火災や化学的燃焼を起こす原因になります。 電池を火の中に入れたり、加熱、分解しないでください。 使用済の電池は地方自治体の条例または規則に従って廃棄してください。 電池は幼児の手に届かない所に保管してください。(万一飲み込んだ場合には直ちに医師と相談してください。) 電池を絶対に充電しないでください。 電池が漏液したり、異臭がするときは、漏れた電解液に引火する恐れがありますので、直ちに火気から遠ざけてください。
------	---

SRAM 領域のバックアップ手順

電池「V7-BT」は本体の電源を切った状態で、3 分以内に交換してください。 3 分以内に交換できない場合は、V-SFT-5 または CF カードを使用して、SRAM に格納されている データのバックアップをとります。

V-SFT-5 を使用する場合

- 1) ケーブル接続 USB ケーブルまたは Ethernet ケーブルで、V808CH とパソコンを接続します。
- 2) V-SFT-5 を起動 パソコン上で V-SFT-5 を起動します。
- 転送ダイアログを表示 [転送]アイコンをクリックします。[転送]ダイアログが表示されます。
- 転送データの選択
 [転送デバイス:本体]、[転送データ:SRAM データ]を選択します。
 [□ シミュレータを使用する] はそのままにしておきます。
- 5) SRAM データ転送開始 [転送方法]の[PC <--] ボタンをクリックします。SRAM データの転送が開始されま す。
- 6) SRAM データの保存 SRAM データの転送が完了すると、パソコン上に[名前を付けて保存]ダイアログが表 示されます。バックアップデータとして保存します。拡張子は「*.RAM」です。
 - * バックアップデータとして保存した「*.RAM」ファイルを再度 V808CH 側に転送する際 は、5)の[転送方法]で[PC ->]ボタンをクリックします。

CF カードを使用する場合

CFカードを使用する際のバックアップ方法については、「第5章 本体操作方法」の「SRAMのバックアップ方法」を参照してください。

電池交換方法

- V808CHの電源OFF V808CHの電源を切り、I/Fカバーを開けます。ソケットにセットされた電池が現れます。
- 2. 電池の取り外し 電池のコネクタを外し、下図のように、電池をツメ側から上方向に持ち上げて、電池ソケットか ら取り外します。



- * 必ず電池本体を持って、外してください。 電池のケーブルを引っ張らないように、ご注意ください。
- 3. 新品電池のセット

新品電池の赤いケーブル側の面が上面になるようにして、電池ソケットのおさえの部分に斜めに 押し当てます。



その後、電池を下方向に押し、ツメにひっかけて、電池ソケットにはめ込みます。



4. 電池コネクタ取り付け

電池コネクタを取り付ます。 その後、電池ケーブルが端子台の配線の邪魔にならないよう、下図のように、電池ケーブルを、 電池ソケットのツメとその隣のバーの間に通します。



- 注意シールに電池寿命日を記入 I/F カバーを閉じます。
 「注意シール」をはがします。新しい「注意シール」に寿命である5年後の年月日を記入して貼ります。
- V808CH の電源 ON V808CH の電源を入れ、[メイン画面]で電池がセットされたことを確認します。
- バックアップデータの転送
 バックアップデータ「*.RAM」ファイルがある場合は、データを転送します。

2. ディップ/スライドスイッチ

ディップ/スライドスイッチの設定

ディップ / スライドスイッチは I/F カバー内、また CF カードカバー内にあります。設定する際は必ず電源を OFF してください。

I/F カバー内



DIPSW1,2(終端抵抗の設定)

TB3 は RS-485(2 線式)および RS-422(4 線式)で接続可能です。 各コントローラと RS-485(2 線式)で接続する場合は、DIPSW2、RS-422(4 線式)で接続する場 合は、DIPSW1、2 をそれぞれ ON します。

CF カードカバー内



DIPSW1^{*} (CF 自動ロード)

CF カードに入っている画面データを自動アップロードする場合に ON します。

手順

- V-SFT-5 で画面データを書き込んだ CF カードを用意します。(書き込み手順については、『V8 シリーズ リファレンスマニュアル』を参照してください。)
- 2. V808CH本体の電源を OFF し、スライドスイッチを下方向に ON します。
- 3. CF カードを挿入し、V808CH 本体の電源を ON します。自動的に画面データを本体の FLASH メモリに書き込み始めます。
- * 使用しない場合は必ず OFF にしておいてください。

3. ファンクション/外部出力スイッチ

種類

ファンクションスイッチには以下の 12 個のスイッチがあります。 [SYSTEM], [F1], [F2], [F3], [F4], [F5], [F6], [F7], [SW1], [SW2], [SW3], [SW4]

各スイッチの機能

[SYSTEM] スイッチ

[SYSTEM] スイッチはオルタネート動作します。
 一度押すと、ファンクションスイッチの左側に下図のようにメニューが表示(*)され、[F1] ~
 [F7] はメニューの動作となります。
 メニューの見え方は、本体ハード Ver.、および本体プログラムによって異なります。

 本体ハード Ver. が「a」の場合、または、本体ハード Ver. が「b」以降、かつ本体プログラム Ver. が 1.670 よりも前の場合



* [SYSTEM] スイッチを押しても切替メニューが表示されない場合、[SYSTEM] スイッチを禁止していま す。解除方法は、[SYSTEM] スイッチを押しながら [F7] スイッチを切替時間(最大 30 秒)押し続け ます。切替時間は画面データで設定されています。 • 本体ハード Ver. が「b」以降、かつ本体プログラム Ver. が 1.670 以降の場合



メニュー表示状態



ユーザー設定のファンク ションスイッチとして機能

* [SYSTEM] スイッチを押しても切替メニューが表示されない場合、[SYSTEM] スイッチを禁止していま す。解除方法は、[SYSTEM] スイッチを押しながら [F7] スイッチを切替時間(最大 30 秒)押し続け ます。切替時間は画面データで設定されています。

メニュー表示時の [F1] ~ [F5] スイッチ機能

		機能	仕様		
F1		モード切替	STOP ↔ RUN の運転モードを切り替えます。 ^{*4}		
F2	*1	-	-		
	*2 *3	輝度	明るい		
F3	*1	-	-		
	*2 *3	輝度	中間		
EA	*1	-	-		
14	*2 *3	輝度			
			常時 ON	-	
F5		バックライト 制御 ^{*5}	自動 1 自動 2 自動 3	 「F5] スイッチでバックライトは OFF します。 システムメモリの読込エリア n + 1 のバックライト制御ビット(11 ビット目)が「0」の時有効です。 	
			マニュアル マニュアル2	 マニュアル [F5] スイッチでバックライトは OFF します。ON させるには、画面または任意のファンクションスイッチをさわります。 マニュアル2 [F5] スイッチで ON/OFF 動作します。 電源投入時のバックライトの状態を指定する[バックライト ON 時制御]の項目が有効となります。 電源投入時 ON → バックライト ON OFF → バックライト OFF 	
F	6		-		
F	7				

- *1 本体ハード Ver.「a」、または、本体ハード Ver.「b」以降、かつ本体プログラム Ver. 1.670 より前の場合
- *2 本体ハード Ver.「b」以降、かつ本体プログラム Ver. 1.670 以降の場合
- *3 輝度調整を中間または暗いに設定した場合、バックライトの寿命は短くなります。
- *4 [MODE] スイッチを押しても STOP ↔ RUN の切り替えがされない場合、[F1] (=MODE) スイッチを禁止 しています。解除方法は、[SYSTEM] スイッチを押して切替メニューが表示されている状態で、[F1] (=MODE) スイッチを押しながら [F7] スイッチを切替時間(最大 30 秒)押し続けます。切替時間は画面 データで設定されています。
- *5 バックライト制御は V-SFT-5 の [システム設定] → [本体設定] → [バックライト] → [バックライト] タブで設定します。

ユーザー設定のファンクションスイッチ [F1] ~ [F7] の設定方法

V808CH が運転画面(RUN 状態)で、[SYSTEM] スイッチによるメニューが表示されていない時 は、各ファンクションスイッチを、ユーザー側で自由に使用することができます。 設定は、V-SFT-5 で行います。

- 各スクリーン毎の設定 [画面設定]→ [ローカルファンクションスイッチ設定]→ [ローカルファンクションス イッチ設定] ダイアログ
- 全スクリーンで同じ動作を行う設定
 [システム設定] → [グローバルファンクションスイッチ設定] → [グローバルファンクションスイッチ設定] ダイアログ
- * V808CH が [メイン画面] 表示で [SYSTEM] スイッチによるメニューが表示されていない時は、各ファ ンクションスイッチは機能なしです。

外部出力スイッチ [SW1] ~ [SW4]

外部出力スイッチとして使用可能です。配線については、「第2章 仕様」の「外部出力スイッチ SW1 ~ 4」(P 2-11)を参照してください。





- 1. 操作の前に
- 2. メイン画面

1. 操作の前に

運転開始(RUN)までの流れ

- 1. V808CH の設置および電源の配線をします。 詳しくは第3章を参照してください。
- PLC・温調器等の周辺機器の設置および配線をします。
 注意事項等は、別冊『V8 シリーズ 接続マニュアル』を参照してください。
- 3. V808CH の電源を投入します。



- 4. 作成した画面データの転送をします。
 - 新品の場合
 「新品への画面データ転送」P 5-2 を参照してください。
 - 新品ではない場合 他の画面データと入れ替えたい場合は、『V8 シリーズオペレーションマニュアル』を参照し てください。
- 5. 運転を開始します。RUN モードへの切り替え方法については、「メイン画面」P 5-3 を参照して ください。
 - 各コントローラとの接続が確立後、RUN 画面が表示されます。
 - * 運転が正常に行われず、本体にエラーが出るようであれば、第6章もしくは『V8シリーズ リファレンスマニュアル』を参照し、エラーの原因を取り除いてください。

新品への画面データ転送

購入後、初めて電源投入 [初期画面] A \mathbb{D} 0 [カード転送] 画 -Ś 0 面へ切り替え 1 íœ USB-B USB POWER OP 64 0 V808CH の IP ア Ethernet LAN 6 ドレス設定 65 画面データを転送して下さ 62 $\overline{}$ (F6) 请输送画面数据 63 Ð パソコン 請輸送畫面數據 (5113) 600 <u>화면데이타</u>를 전송해주십 6774 6112 V808CHとパソコン間の通信状態を表示 1) USB 転送 V808CHのUSBスレーブポート(USB-Bポート)にUSBケーブルを挿し、パソコンから画 面データを転送します。(必ず、USB ドライバをインストールする必要があります。インス トール方法→第2章 P2-18参照。) 2) CF カード転送^{*}

本体初期画面の [CF カード / (Japanese)] スイッチを押すと、 [カード 転送] 画面に切り替わり、操作できます。 (画面の操作方法→第5章 P5-17参照。)

購入後、初めて画面データを転送するには、以下の4通りの方法があります。



- CFカード転送(自動アップロード)*
 本体の電源投入で、自動的に画面データの転送が開始されます。 (操作方法→第4章 P4-6参照。)
- 4) Ethernet 転送
 V808CHのLANポートに Ethernet ケーブルを挿し、パソコンから画面データを転送します。本体初期画面の[IPアドレス/ (Japanese)]スイッチを押すと、[Ethernet] 画面に切り替わり、 V808CHのIPアドレスを設定できます。 (画面操作方法→第5章 P5-7参照。)



* あらかじめ、パソコンから CF カードに画面データを書き込みます。書込み方法については、別途『V8 シ リーズ リファレンスマニュアル』を参照してください。

画面データ転送完了後、以下の表示に切り替わります。詳細については、「メイン画面」P 5-3 を 参照してください。



メイン画面 2.

[メイン画面] への切り替え方法

RUN 画面から [メイン画面]を表示するには、[SYSTEM] スイッチを押して、切替メニュー表示 中^{*1} に [F1] スイッチを押します^{*2}。

[OP.] LED が点灯しているか、確認してください。消灯している場合は、[デッドマ 注意 ンスイッチ]を押すと点灯し、画面操作可能な状態になります。



- *1 [SYSTEM]スイッチを押しても切替メニューが表示されない場合、[SYSTEM]スイッチを禁止していま す。解除方法は、[SYSTEM] スイッチを押しながら [F7] スイッチを切替時間(最大 30 秒)押し続けま す。切替時間は画面データで設定されています。
- *2 [F1] スイッチを押しても [メイン画面] が表示されない場合、[F1] (= [MODE]) スイッチを禁止してい ます。解除方法は、[SYSTEM] スイッチを押して切替メニューが表示されている状態で、[F1] (= [MODE]) スイッチを押しながら [F7] スイッチを切替時間(最大 30 秒)押し続けます。切替時間は画 面データで設定されています。

[メイン画面] について

[メイン画面]には V808CH の型式、システム情報、画面データ情報が表示されます。 またパソコン~ V808CH間の画面データ転送時のシステム画面という役割もあります。



[メイン画面]

[メインメニュー] スイッチ

[メインメニュー]スイッチを押すと、下記のメニューが表示されます。



[メイン画面]の構成

[メイン画面]は以下の構成になっています。



1. RUN



[メインメニュー]内の [RUN] スイッチを押すと、RUN 画面に切り替えることができます。

2. 言語切換

[メインメニュー]内の[言語]スイッチを押すと、[言語切換] 画面が表示されます。 この画面では、V-SFT-5 の[フォント設定] で選択した言語のスイッチ^{*}が表示され、[メイン画面] の表示言語を切り換えます。



* [メイン画面]で表示可能な言語は、「英語」、「日本語」、「中国語(繁体字)」、「中国語(簡体字)」、「韓国語」の5種類です。「英語」は常に表示可能です。
3. 通信パラメータ

[メインメニュー]内の[通信パラメータ]スイッチを押すと、[通信パラメータ]画面が表示されます。 この画面では、V-SFT-5 で設定した PLC1 ~ 8 の通信パラメータの内容を確認できます。



[通信パラメータ] 画面



4. Ethernet

[メインメニュー]内の [Ethernet] スイッチを押すと、 [Ethernet] 画面が表示されます。 この画面では、V808CHの IP アドレス設定を行います。

[Ethernet] 画面







Ethernet ケーブルを挿し、LAN ポートが正常か確認できます。 正常時:接続(白) 異常時:切断(グレー)

IP アドレスの設定後、[設定完]スイッチを押し、 確定します。[メイン画面]に切り替わります。

4-1. V808CHのIPアドレス設定

Ethernetの機能を使用する場合、V808CHのIPアドレス設定が必要です。IPアドレスは、本体で設定する方法と画面データで設定する方法の2通りあります。

* 両方で IP アドレスを設定した場合、電源再投入時は画面データで設定した IP アドレスが有効となります。

本体 [Ethernet] 画面による設定

- 1. [メインメニュー]内の [Ethernet] スイッチを押し、[Ethernet] 画面を表示します。
- 2. [EDIT] スイッチを押し、各項目を設定します。



ゲートウェイ、サブマスクが0の場合は使用しません。

 [設定完]スイッチを押し、IP アドレスを確定します。[メイン画面]の[Ethernet 情報]で IP アドレスを確認します。

Ethernet			戻る
内蔵LAN			
IP7	ドレス設定		
ゲートウェイ、サブ	マスクが0の場合は使用しませ	ŧん。	
IPアドレス:	192.168. 1.	200	
ゲートウェイ:	0. 0. 0.	0	
サブマスク :	255.255.255.	0	
ポートNo :	10000		
		EDIT	1
接続			
			- 160
			0
			\sim

IPアドレス確定

画面データによる設定

- 画面データで、[システム設定] → [Ethernet 通信] → [自局 IP アドレス] をクリックします。
 [IP アドレス設定] ダイアログが表示されます。
- 2. [□ IP 設定を行う] にチェックし、各項目を設定します。

IPアドレス設定					×
IPアドレス設定					
▶ 評設定を行う					
□ IPアドレスをネットワーク	テーブルガ	ら選択	する	No. O	*
IPアドレス 0	0	0	0		
🗌 デフォルトゲートウェイ		0	0	0	0
🗌 サブネットマスク		0	0	0	0
ポートNo.	10000				
送信タイムアウト時間	15		*sec		
リトライ回数	3				
- メモリプロテクト					
□内部メモリ]メモリカー	・ドメモリ	
		L	OK		キャンセル

□ IP アドレスをネットワーク テーブルから選択する	V808CH の IP アドレスがネットワークテーブルに登録済みの場合有効 です。ネットワークテーブル No. 0 ~ 99 から IP アドレスを選択しま す。
IP アドレス*	V808CHの IP アドレスを設定します。
デフォルトゲートウェイ [*]	デフォルトゲートウェイを設定します。
□ サブネットマスク *	サブネットマスクを設定します。 チェックなしの場合、自動的に IP アドレスの第 1 アドレスの値を判断 した上で動作します。 (例) IP アドレスが「172.16.200.185」の場合「255.255.0.0」、 IP アドレスが「192.168.1.185」の場合「255.255.255.0」で動作。
□ ポート No.*	ポート No. 1024 ~ 65535 を設定します。 8001 を除く
送信タイムアウト時間	マクロコマンド EREAD/EWRITE を送信する際のタイムアウト時間を 設定します。
リトライ回数	0~ 255 回 タイムアウト発生時のリトライ回数を設定します。
メモリプロテクト □ 内部メモリ □ メモリカードメモリ	パソコンや、他局からの書込を禁止する場合にチェックします。

* 各項目の詳細については P5-10 を参照してください。

- 3. [OK] をクリックします。
- 4. V808CH に画面データを転送します。[メイン画面]の[Ethernet 情報]で IP アドレスを確認し ます。

IP アドレスとは					
Ethernet 上のノードを識別するためのアドレスで、重複しないように設定しなければなりません。 IP アドレスは、ネットワークアドレスとホストアドレスで構成された 32 ビットのデータで、ネットワークの規 模により A ~ C のクラスに分かれています。					
クラス A 0	ネットワーク アドレス (7)	π 2	ストアドレス (24)		
クラス B 10) ネットワークア	'ドレス (14)	ホストアド	レス (16)	
クラス C 1	10 *:	ットワークアドレス (1	4) 7	ホストアドレス (8)	
<表記方法> 32 ビットデータ 例 : クラス C の 11000000	?を8ビットずつ4 次のような IP アド 10000000 000000	分割し、それぞれ レスの場合は 192.)01 00110010	を 10 進数で表記 128.1.50 となりま	し、ピリオドで⊵ ます。	区切ります。
<使用できない IP アド ・ 先頭の 1 バイトが 0 ・ 先頭の 1 バイトが 1 ・ 先頭の 1 バイトが 2 ・ ホストアドレスが全	[*] レス>)••• 例 0.x.x.x 27(ループバック [*] 224 以上(マルチキ ≿部 0、または全部	アドレス)••• 例 12 ャスト、実験用) 255(ブロードキ+	27.x.x.x ••• 例 224.x.x.x ァストアドレス)・	•••• 例 128.0.255.2	255, 192.168.1.0
ポート No. とは					
各ノードでは複数のア データをどのアプリケ- す。ポート No. は 16 Ŀ V808CH は、画面転送 複しない No. を 1024 ~ 65535 の範囲で設定で	プリケーションが起 ーションに渡すのか ビットのデータ(0- (8001)、PLC 通信 ~ 65535 の範囲で話 きます。なるべく値	動し、他ノードの いを識別しなければ ~ 65535)です。 ((任意)、シミュし 設定してください。 の大きな番号を使	アプリケーション なりません。その レータ(8020)で また、PLC やパ 河することをおき	∠と通信していま D役割を果たすの ポートを使用し ソコンのポートト 愛めします。	;す。そのため、 ;がポート No. で ます。これらと重 No. 設定は、256 ~
デフォルトゲートウェイ	イとは				
ネットワーク間の通信: これらを使用して、他の 設定します。	を行うものに、ゲー のネットワークのノ	-トウェイ、ルータ - ードと通信をする	があります。 場合に、ゲートr	ウェイ (ルータ)	の IP アドレスを
サブネットマスクとは					
一つのネットワークアドレスを複数のネットワーク(サブネット)に分割するときに使用します。 IP アドレスのホストアドレスの一部をサブネットアドレスとすることで、サブネットが割り振られます。					
クラス B	10 ネットワーク	フアドレス (14)	ホストア	ドレス (16)	
	255.	255.	255	5.	0
サブネットマスク	11111111	11111111	11111111	0000000	0
ネットワークアドレス サブネットアドレス ホストアドレス く使用できないサブネットマスク> ・ 全ビットが 0 •••0.0.0.0 ・ 全ビットが 1 •••255.255.255.255					

5. SRAM / 時計

[メインメニュー]内の[SRAM/時計]スイッチを押すと、[SRAM/時計]画面が表示されます。 この画面では、V808CHの内蔵時計を使用する場合に日付、時刻修正や SRAM 領域フォーマット、 日本語変換機能における学習/ユーザー単語領域のクリアを行います。



[電池交換が必要です]のメッセージで警告します。*2

- *1 V-SFT-5の[システム設定]の[日本語変換機能を使用する]にチェックを入れた場合に表示されます。設 定方法については別冊『V8 シリーズ リファレンスマニュアル』を参照してください。
- *2 必ず電池をセットしてください。電源が供給されないと時計や SRAM の内容が保持できません。

5-1. 日付と時刻合わせ

V808CHの内蔵時計を使用する場合に、この画面で修正可能です。

V808CH の内蔵時計を使用するか、PLC 側の時計を読み込むかは、V-SFT-5 の [システム設定] → [本体設定] → [SRAM/時計] → [SRAM/時計設定] ダイアログ→ [内蔵時計を使用する] にて設 定します。

- 1. [←] / [→] スイッチでカーソル移動し、[+] / [-] スイッチで日付、時刻を修正します。
- 2. 修正後、[セット] スイッチを押し、確定します。右上の時刻が更新されます。



3. [戻る] スイッチで、[メイン画面] に戻ります。

SRAM 領域のフォーマット前

5-2. SRAM のフォーマット

SRAM 領域のフォーマットをします。 SRAM 領域のフォーマットを行うと、前のデータ(SRAM に格納した履歴データ、内部メモリ \$L な ど)は消えてしまいます。細心の注意を払ってフォーマットを行ってください。

 [フォーマット] スイッチを押し、次に[実行] スイッチを押します。
 現在の画面データで設定された SRAM 領域の形式でフォーマットされます。フォーマットが完 了すると「** フォーマット完了 **」のメッセージが表示されます。

SRAM/時計 異る	SRAM/時計	戻る
2008-4 -1 10:41:20	2008	8-12-10 12:10:15
B付と時期合わせ 日付: 2006 - 4 - 1 時刻: 10:41:0 + - せット	日付と時刻合わせ 日付: 2008 - 12 - 10 時刻: 12:10: 3 + -	セット
SRAM074-マット 内臓 *税位の施設デンタの形式でオーマットします。 74-2 フォーマート 第5 日本協交換 学習/ユー 71	SRAM074-マット 米頃在の画面データの形式でフォーマットします。 フォーマット 東京 日本語交換 学習/ユーザー単語挑戦 クリア 東京	内蔵 マット完了米米)

SRAM 領域のフォーマット完了

2. [戻る] スイッチで、[メイン画面] に戻ります。

5-3. 日本語変換 学習/ユーザー単語領域

日本語変換機能で使用する領域をクリアします。 学習/ユーザー単語領域のクリアを行うと、登録したデータは消えてしまいます。細心の注意を 払ってクリアを行ってください。

 [クリア] スイッチを押し、次に[実行] スイッチを押します。正常にクリアされると、「** ク リア完了 **」のメッセージが表示されます。

学習 / ユーザ単語領域のフォーマット前

学習 / ユーザ単語領域のフォーマット完了



2. [戻る] スイッチで、[メイン画面] に戻ります。

6. 拡張プログラム情報

[メインメニュー]内の[拡張情報]スイッチを押すと、[拡張プログラム情報] 画面が表示されま す。この画面では、ラダー転送機能、プリンタ、日本語変換機能、シミュレータなどのプログラム バージョンを確認できます。

[メインメニュー]

メインメニュー	VSOSICHO)
RUN	Ē	<u>ドライバ</u> 作 PLC1 TB2 三菱
通信バラメータ	Ethernet	VER. PLC2 TB3 オム VER
SRAM/時計	拡張情報	P)_3 Ethe 横河 VER.
リート戦法	シミュレータ	

[拡張プログラム情報] 画面



7. カード転送

[メインメニュー]内の [カード転送] スイッチを押すと、[カード転送] 画面が表示されます。 この画面では、V808CH と CF カードやメモリカード間の画面データなどの転送を行います。



- 1. データ選択
 - [画面データ] → 「CF カードからの画面データ転送方法」P 5-17 を参照。
 - [SRAM] →「SRAM のバックアップ方法」P 5-22 を参照。
 - [Ethernet テーブル] →「Ethernet テーブルの転送方法(開発中)」P 5-24 を参照。
- 2. 動作選択
 - [本体 <--- カード] → CF カードから V808CH にデータ転送します。
 - [本体 ---> カード] → V808CH から CF カードにデータを吸い出します。
 - [本体 <--> カード] → CF カードと V808CH のデータを比較します。
 - [消去] → CF カード内のデータを消去します。「CF カード内のデータの消去」 P 5-25 を参照。

CF カード内のフォルダ構成 7-1.

各フォルダ名とその中のファイル、および目的については以下のとおりです。 詳しくは、『V8 シリーズ リファレンスマニュアル』を参照してください。

CFカード

🖰 DAT0000(アクセスフォルダ名 : ユーザーで自由に設定可能、半角 32 文字以内)

フォルダ名(固定)	内容	ファイル名	データ方向
BITMAP	パターン(ビットマップ)データ	BMPxxxx.BIN	$V8 \leftarrow CF$
CARD	V6 互換のメモリマネージャ機能を使った場合の レシピデータ	MCMHEAD.BIN MCMxxxx.BIN	$V8 \leftrightarrow CF$
DSP	画面データ	DSP0000.BIN	$V8 \leftrightarrow CF$
FONT	ゴシックフォントまたは多言語	xxxxxx.FTD	$V8 \leftarrow CF$
HDCOPY	ハードコピーイメージ (128 色表示時、JPEG / BIN 形式の選択可) ^{*1}	HDxxxx.JPG HDxxxx.BIN	$\rm V8 \rightarrow CF \ ^{*4}$
JPEG	JPEG ファイル(一部機種を除く)	xxxxx.JPG JPxxxxx.JPG	$V8 \leftarrow CF$
LADDER	ラダーモニタ機能のラダーデータ ^{*2}		$V8 \leftarrow CF$
MEMO	メモ帳の内容	MEMxxxx.BIN	$V8 \rightarrow CF^{*5}$
MSG	メッセージファイル	MSGxxyyy.BIN MSGxxyyy.TXT	V8 ← CF
OPELOG	操作ログのログファイル ^{*3}	OPELOG_hhmmss.BIN	$V8 \leftrightarrow CF$
RECIPE	レシピデータ ^{*1}	RECxxxx.CSV xxxxxxxx.CSV	$V8 \leftrightarrow CF$
SAMPLE	データロギング、アラームの履歴データ	SMPxxxx.BIN SMPxxxx.CSV	$\rm V8 \rightarrow CF \ ^{*5}$
	タイトルファイル	SMHxxxx.CSV	$V8 \leftarrow CF$
	ヘッダーファイル	SCHEADER.BIN	
SCRN	スクリーンファイル コンポーネントパーツ(マクロブロック / サンプ リングメッセージ)	SCxxxx.BIN MCRxxxx.BIN MSGxxxx.BIN	V8 ← CF
	3D パーツファイル	3Dxxxx.BIN	
	Windows フォントファイル(作画 / メッセージ)	WFSxxxx.BIN WFMxxxx.BIN	
SNAP	 ビデオでスナップした画像	VDxxxxx.JPG	$\rm V8 \rightarrow CF \ ^{*4} \ ^{*5}$
SRAM	SRAM 内データのバックアップデータ	SRM0000.BIN	$V8 \leftrightarrow CF$
WAV	音声出力用 WAV ファイル	WAxxxx.WAV	$V8 \leftarrow CF$
WEBSERV	Web ブラウザからアクセスするファイル	*.SHT、*.HTML、*.TXT など	$V8 \leftarrow CF$

*1 『マクロリファレンス』参照

*4 Web サーバで使用時 : V8 ← CF

*2 『V8 シリーズ ラダーモニタ仕様書』参照 *3 『V8 シリーズ リファレンス追加機能』参照

*5 V8本体で作成されたファイルの場合: V8 ← CF

CFカード

DSPDEF(画面データ自動アップロード用フォルダ : 固定フォルダ名)

フォルダ名(固定)	内容	ファイル名	データ方向
DSP	本体のディップスイッチを設定後、CFカードを本体に挿入すると、自動的にこのフォルダ内の画面データを読み込みます	DSPDEF.BIN	$V8 \leftarrow CF$

(その他のフォルダは「アクセスフォルダ」の場合と同様)

7-2. CF カードからの画面データ転送方法

V808CHの内蔵ソケットにCFカードを挿入した場合の転送手順を以下に説明します。

 本体側面の CF カード締め付けネジ2 箇所を外し、CF カードカバーを開けます。 CF カードを挿入します。





2. 以降、CF カードの抜き挿しはしないでください。

 2. [メイン画面]から[メインメニュー]内の[カード転送]スイッチを押します。[カード転送] 画面が表示されます。



3. データ選択は [画面データ]を選択します。

4. 動作選択

- •「[本体 <--- カード]を選択した場合」P 5-18 を参照してください。
- •「[本体 ---> カード]を選択した場合」P 5-20 を参照してください。
- •「[本体 <---> カード]を選択した場合」P 5-21 を参照してください。

[本体 <--- カード] を選択した場合

1. [本体 <--- カード]を選択した場合、次のような [カード 転送] 画面に切り替わります。



- * [現在選択中のフォルダ名]のデフォルトは画面データで設定されている「アクセスフォルダ名」が表示 されます。V808CH内に画面データが存在しない場合は、「DAT0000」を表示します。
- アクセスフォルダ確認
 [フォルダ名]、[残り容量]、[CFカードファイル情報]を確認後、選択されているフォルダでよ
 ければ4.へ進みます。フォルダを変更する場合は3.へ進みます。
- アクセスフォルダ変更 (フォルダ内のファイル確認) フォルダを変更する場合は、[フォルダ選択]スイッチを押します。
 [フォルダ選択] 画面が表示されます。該当のフォルダを選択し、[決定]スイッチを押します。



* [フォルダ詳細]スイッチを押すと、以下の画面に切り替わります。



4. 転送データ選択

フォルダを選択後、[転送データ選択] スイッチを押します。 「転送データ選択」ダイアログが表示され、同時に[転送データ選択] スイッチの文字が「転送 開始」に変わります。



- *「転送データ選択」ダイアログをキャンセルする場合は[戻る]スイッチを押します。
- 5. 転送開始

転送するデータを選択し、[転送開始] スイッチを押します。[転送開始] スイッチの文字が [転送中] に変わります。



6. 転送終了

転送が正常に終了すると次のダイアログが表示されます。[確認] スイッチを押します。 ただし、「転送ダイアログ」において[プログラム]スイッチまたは[全てを選択]スイッチを 選択し、転送が正常に終了すると、自動で[メイン画面]になります。



* その他のエラーメッセージダイアログが表示された場合は、「データ転送時のメッセージダ イアログ(V808CH ~ CF カード間)」P 5-26 を参照してください。

[本体 ---> カード]を選択した場合

1. [本体 ---> カード]を選択した場合、次のような [カード転送] 画面に切り替わります。



2. 転送開始

「フォルダ名」および「CF カードファイル情報」を確認後、[転送開始]スイッチを押します。

 * 画面データのアクセスフォルダ名と CF カード内のアクセスフォルダ名が同じ場合は、CF カード内のデータが上書きされるので注意してください。
 「CF カードファイル情報」が空欄の場合は、アクセスフォルダ名の下の DSP フォルダに新 規ファイル「DSP0000.BIN」が作成されます。

3. 転送中~転送終了

転送中は[転送開始]スイッチの文字が[転送中]に変わります。正常に終了すると次のダイア ログが表示されます。[確認]スイッチを押します。



データの内容に切り替わります。

* その他のエラーメッセージが表示された場合は、「データ転送時のメッセージダイアログ (V808CH ~ CF カード間)」P 5-26 を参照してください。

[本体 <---> カード]を選択した場合

 [本体 <---> カード]を選択した場合、次のような [カード転送] 画面に切り替わります。
 本体の画面データと本体で設定されているアクセスフォルダ内にある画面データ (DSP フォル ダ内)を比較します。



- 2. 比較開始
 [転送開始]スイッチを押します。
- 比較中~比較終了
 比較中は[転送開始]スイッチの文字が[転送中]に変わります。正常に終了すると次のダイアログが表示されます。[確認]スイッチを押します。



* その他のメッセージが表示された場合は、「データ転送時のメッセージダイアログ(V808CH ~ CF カード間)」P 5-26 を参照してください。

7-3. SRAM のパックアップ方法

電池交換のために、本体内蔵の SRAM メモリに格納されているデータをバックアップする方法について説明します。

1. データ選択

[カード転送] 画面上の [SRAM] スイッチを選択します。スイッチが押された状態ならば、選 択対象として認識されます。

2. 動作選択

動作選択は [本体 <--- カード]、[本体 ---> カード]、[本体 <---> カード] から選択します。

	鳨作選択	
カード転送		戻る
<u>GFカード接続先選択</u> 内蔵ソケット		
_ <u>データ選択</u> 画面データ	<u>動作道択</u> 本体 < カー 本体> カー	3
SRAM Ethernetデーブル	本体 <> 力 消去	4

- アクセスフォルダ確認・選択 [SRAM 転送] 画面に切り替わります。
 - [本体 ---> カード]、[本体 <---> カード]を選択した場合 本体の画面データと同じ名前の CF カード内のアクセスフォルダ名を選択し、表示します。



* 「本体 <---> カード」を選択した際は「本体 <---> カード」と表示されます。

• [本体 <--- カード] を選択した場合



4. 転送または比較開始

フォルダ名、残り容量、転送動作を確認し、「転送開始」スイッチを押します。 転送または比較中は[転送開始]スイッチの文字が[転送中]に変わります。



5. 転送終了

正常に終了すると次のダイアログが表示されます。[確認]スイッチを押します。

転送または比較終了



* その他のメッセージが表示された場合は、「データ転送時のメッセージダイアログ(V808CH ~ CF カード間)」P 5-26 を参照してください。

7-4. Ethernet テーブルの転送方法(開発中)

あらかじめ CF カードに格納した Ethernet テーブル(CSV ファイル形式*)を、V808CH に転送す る方法について説明します。

- * CSV ファイルは CF カードアクセスフォルダ内の DSP フォルダに格納します。詳しくは、別途『V8 シリーズ リファレンスマニュアル』を参照してください。
- データ選択
 [カード転送] 画面上の [Ethernet テーブル] スイッチを選択します。スイッチが押された状態 ならば、選択対象として認識されます。
- 動作選択 動作選択は [本体 <--- カード]、[本体 ---> カード]、[本体 <---> カード] から選択します。
- [Ethernet テーブル転送] 画面を表示
 [Ethernet テーブル転送] 画面に切り替わります。
 - [本体 <--- カード]を選択した場合 [CF カードファイル情報]に[転送元]と表示します。
 - [本体 ---> カード]を選択した場合 [CF カードファイル情報]に[転送先]と表示します。
 - [本体 <---> カード]を選択した場合 [CF カードファイル情報]に[比較元]と表示します。
- ファイル選択 ファイル選択 [↑]、[↓] スイッチからファイル名を選択します。(デフォルトは「------」が 並び、ファイル未選択状態を表します。)
- 転送または比較開始
 [転送開始]スイッチを押します。転送または比較中は「転送開始]スイッチの文字が「転送中」
 に変わります。
- 転送終了
 正常に終了すると、「動作は正常に終了しました」のメッセージダイアログが表示されます。「確認」スイッチを押します。
 - * その他のメッセージが表示された場合は、「データ転送時のメッセージダイアログ(V808CH ~ CF カード間)」P 5-26 を参照してください。

7-5. CF カード内のデータの消去

CF カード内のデータを全て抹消することが可能です。手順は以下のとおりです。

1. 動作選択

動作選択で[消去]を選択すると、[CFカードデータ消去]画面に切り替わります。 元の画面に戻る場合は[戻る]スイッチを押します。



 消去実行~実行中 カード内のデータを全て消去してもよい場合は[実行]スイッチを押します。しばらく点灯状態 となります。



 消去完了 データ消去が完了すると、「**データ消去完了**」のメッセージが表示されます。以上で データ消去は完了です。[戻る]スイッチを押して、元の[カード転送]画面に戻ります。



* CF カードの内容は完全に抹消されていますが、[戻る] スイッチによって [メイン画面] 戻った時点で、本体に転送された画面データのアクセスフォルダを自動作成します。

7-6. データ転送時のメッセージダイアログ(V808CH ~ CF カード間)

データ転送時にエラーが発生した場合、V808CH 画面上に右図のようなメッセージが表示されます。 その他のメッセージは次のとおりです。

カードが挿入されていません

確認

メッセージ	内容
動作は正常に終了しました	指定した動作が正常に終了しました
カードが挿入されていません	カードが挿入されていません
カードの容量をオーバーしています	カードへのデータ書き込み時、V808CH内のデータがカードの容量 よりも大きいため、書き込みが行えません
書き込みエラーが発生しました	カードへのデータ書き込み中にエラーが発生しました
データが存在しません	読み込み先のデータがありません
データの機種が異なります	V808CH へ書き込もうとしたとき、カードのデータと V808CH の 機種が異なっています
データの読み込みができません	カードのデータが読み込みできないデータでした
読み込みエラーが発生しました	V808CH 内フラッシュ ROM へ書き込み中にエラーが発生しました
データが一致しません	データ比較において、カードと V808CH 内のデータに違いがあり ました
本体側の画面データは破壊されます	カードから V808CH へ、現在より大きいフォントデータを転送す る際の警告 ([確認] スイッチで続行した場合、画面データを再転送してください)
未定義エラーが発生しました	上記以外の何らかの原因で、エラーが発生しました
無効なフォーマットです	CF カードもしくは USB メモリのファイルシステムが認識できな いフォーマットです パソコン上で、FAT または FAT32 にフォーマットし直してくださ い

8. 1/0 テスト

[メインメニュー]内の [I/O テスト] スイッチを押すと、[I/O テスト] 画面が表示されます。 この画面では、V808CH のインターフェースが正常であるか、またタッチスイッチが正常であるか の確認を行います。



[I/O テスト] 画面



ファンクションスイッチのテストを行います。(P 5-31)

8-1. セルフループテスト

TB2、TB3の端子台の RS-232C/RS-485 信号チェックです。 各コントローラと接続した際、正常に通信しない場合にチェックします。



TB2 RS-232C の信号テスト

テスト選択で [TB2] スイッチを ON します。



SD/RD テスト

[TXD]、[RXD] の信号をチェックします。

1. V808CH 端子台 TB2 の 1 番ピンと 2 番ピンをジャンパーします。

Name	No.	
TXD	1	
RXD	2	

2. [ループバック] スイッチを押して、[OK] のランプが点灯すれば正常です。



* [NG] が点灯した場合は、1番ピン、2番ピンの故障が考えられます。弊社技術相談窓口 までお知らせください。

CTS/RTS テスト

[CTS]、[RTS] の信号をチェックします。

1. V808CH 端子台 TB2 の 3 番ピン(RTS) と 4 番ピン(CTS) をジャンパーします。

Name	No.	
RTS	3	
CTS	4	

2. [RTS] スイッチを押した時、[RTS] ランプと同時に [CTS] ランプが ON になり、同様 に、[RTS] を OFF するのと同時に [CTS] が OFF すれば、OK です。



TB3 RS-485 の信号テスト

テスト選択で [TB3] スイッチを ON します。



SD/RD テスト

[SD]、[RD] の信号をチェックします。

 V808CH 端子台 TB3 の 12 番ピンと 14 番ピン、13 番ピンと 15 番ピンを、それぞれジャン パーします。

Name	No.	
+SD	12	
-SD	13	
+RD	14	\vdash
-RD	15	

2. [ループバック] スイッチを押して、[OK] のランプが点灯すれば OK です。



* [NG] が点灯した場合は、いづれかのピンの故障が考えられます。弊社技術相談窓口ま でお知らせください。

+RTS/-RTS テスト

[+RTS]、[-RTS] の信号をチェックします。

1. V808CH 端子台 TB3 の 14 番ピン(+RD)と 17 番ピン(+RTS)、15 番ピン(-RD)と 18 番ピン(-RTS)をジャンパーします。



2. [RTS] スイッチを押した時、[RTS] ランプと同時に [CTS] ランプが ON になり、同様 に、[RTS] を OFF するのと同時に [CTS] が OFF すれば、OK です。



* V808CH 端子台 TB3 (RS-485 接続) に [+CTS]、[-CTS] がないため、[+RD] (14 番ピン)、[-RD] (15 番ピン) を使用してループバックテストを行います。

8-2. プリンタテスト

[I/O テスト] 画面上の [プリンタテスト] スイッチを押すと、[プリントテスト] 画面が表示されま す。この画面では、V808CH の USB-B ポートと PictBride プリンタを接続し、プリンタの印字テス トが行えます。



印字テスト例

[[]プリント]スイッチを押し、正常に印刷できれば以下のようになります。

!"#\$%&@	0123456789	ABCDEFGHIJKLMNO	
!"#\$%&@	0123456789	ABCDEFGHIJKLMNO	
L			

8-3. SYSTEM & ファンクションスイッチテスト

V808CH の左右に並んでいるスイッチ 12 個のチェックメニューです。スイッチを押している間、画面上のランプが点灯すれば正常です。



T A 0 \bigcirc (چ • O O F4 \bigcirc ッチスイッチ プリンタテスト (F5) T キースイッチ デッドマンスイッチ (F6) F2 Р F3 F仕様書を (F7) CTS RTS テスト選択 TB2 TB3 RS232C RS485 NG OK SW3 SW1) ルーブバック (SW4) (SW2)

[I/O テスト] 画面

8-4. キースイッチテスト

本体左上にあるキースイッチのチェックメニューです。キースイッチ ON 時、画面上のランプが点灯 すれば正常です。(V808CH1/V808CH3 のみ付属)



8-5. デッドマンスイッチテスト

本体中央上にあるデッドマンスイッチのチェックメニューです。スイッチを押している間、画面上 のランプが点灯すれば正常です。3 ポジションのデッドマンスイッチの場合、ランプが点灯している 状態でさらに強く押すと消灯します。



8-6. タッチスイッチテスト

画面上のスイッチを押しても反応しない場合、スイッチを押していないのにスイッチが動作している場合、V808CHのパネル面に付いているタッチスイッチに異常がないかチェックします。

1. [タッチスイッチ] スイッチを押すと、スクリーンが分割された画面が表示されます。



 パネル面を押すと、押したところが白色に変わるかどうか確認します。押したところが白色に変われば、スイッチは正常です。元の[I/O テスト]画面に戻るには、[F4]スイッチを押します。 白く反転した箇所を消去するには、[F5]スイッチを押します。



[タッチスイッチ] 画面

* 押した位置と表示された位置がずれる場合には、次頁の「「タッチスイッチ調整方法」P 5-34」に従ってタッチスイッチの位置を調整します。

タッチスイッチ調整方法

前述の「タッチスイッチ」画面上で、押した位置と表示された位置がずれる場合には、以下の手順 でタッチスイッチの位置を調整します。

1. [タッチスイッチ] 画面で、[SYSTEM] スイッチを押しながら [F2] スイッチを押すと、[タッ チスイッチ調整] 画面が表示されます。

[タッチスイッチ] 画面



- 点滅している[2]のコーナーをタッチします。
 離すとピッと鳴り、離した位置が設定値となります。[3]が点滅します。*
- 点滅している[3]のコーナーをタッチします。
 離すとピッと鳴り、離した位置が設定値となります。[4]が点滅します。*
- 点滅している[4]のコーナーをタッチします。
 離すとピッと鳴り、離した位置が設定値となります。*
- * 再設定する場合は、[F2] スイッチを押すと 2. の状態に 戻ります。



[F1] スイッチを押すと長いブザー音が鳴り、タッチ位置が確定されます。
 [タッチスイッチ] 画面に戻ります。

9. 拡張機能設定

[メイン画面]上の[Editor: USB] スイッチと[F5] スイッチを同時押しすると、[拡張機能設定] 画面が表示されます。この画面では、V-Link、Modbus スレーブ、マルチリンクの自局番設定を行い ます。





[設定完]スイッチを押してから 15 秒間、[メイン画面]のスイッチおよびファンクションスイッチは効 きません。

自局番設定

V-Link、Modbus スレーブ、マルチリンクで通信する際、[メイン画面]から自局番の設定をします。

(V-SFT-5 で [システム設定] → [接続機器設定] → [PLCxxxxx : V-Link]、[PLCxxxxx : Modbus ス レーブ (RTU)])、または [通信設定] → [接続形式 : マルチリンク] にて、「□ ローカル画面で自 局番を設定する」にチェックが入っている場合に、設定可能です。)

- [自局番]設定画面へ切り替え
 [↓]スイッチを押し、「自局番」設定画面に切り替えます。
- 2. [自局番] 設定
 - 設定値の[+]/[-]スイッチで自局番を指定します。[自局番]は1~254まで設定可能です。 [設定完]スイッチで設定完了します。



3. 自動的に [メイン画面] に戻ります。



エラーメッセージ
 トラブルシューティング

1. エラーメッセージ

V808CH上に表示されるエラーメッセージには以下の5種類があります。

- 1. 通信エラー
- 2. Data Loading
- 3. Warning
- 4. SYSTEM ERROR
- 5. タッチスイッチが動作しています

1. 通信エラー

V808CH と各コントローラで通信が確立しない場合や異常(ノイズなど)を検出した場合、通信エラーとなり、V808CH 上に以下のようなメッセージを表示します。



エラーメッセージ	内容	対策	備考
タイムアウト	各コントローラに送信要求を出しても時 間内に返答がない	 [接続機器設定] → [通信設定] の チェック ケーブルの配線を確認 	1
		 ノイズによるデータ化けの可能性あり ノイズ対策をしてください 	2
パリティ	パリティチェックでエラーとなった	1. ケーブルの配線を確認	1
		 ノイズによるデータ化けの可能性あり ノイズ対策をしてください 	2
フレーミング	ストップビットは [1] でなければならな いのに [0] を検出した	 [接続機器設定] → [通信設定] の確 認 ケーブルの接触不良、配線確認 	1
		 ノイズによるデータ化けの可能性あり ノイズ対策をしてください 	2
オーバーラン	1 キャラクタ受信後、内部処理が完了前 に次の 1 キャラクタを受信した	1. [接続機器設定] → [通信設定] の確 認	1
		 ノイズによるデータ化けの可能性あり ノイズ対策をしてください 	2
チェックコード	各コントローラのレスポンスでチェック コードが正しくなかった	1. [接続機器設定] → [通信設定] の確 認	1
		 ノイズによるデータ化けの可能性あり ノイズ対策をしてください 	2

* 一度も正常に通信せずに上記のエラーが出た場合は、主に「備考」欄:「1」の対策をとってくだ さい。突然上記のエラーが出た場合は、「備考」欄:「2」の対策をとってください。

エラーメッセージ	内容	対策
異常コードを受信しました	各コントローラが出しているエラーコード (NAK)	各コントローラのエラーコードを調べて対策 してください。
ブレーク	各コントローラ側の SD が LOW レベルになっ たままである	各コントローラ側 SD、V808CH 側の RD 結線 を確認
メモリオーバー (三菱 CPU)	接続中の PLC のメモリ範囲を超えたアドレス を指定した	設定したメモリの種類と範囲を確認してくだ さい
該当 CPU なし (三菱 CPU)	現在サポートしている PLC に該当する CPU がない	ご使用の CPU に V808CH が対応しているか 確認してください
フォーマット	受信したデータが規定のコードと異なってい た	
コンペア (HIDIC S10)	送信データと受信データが異なっていた	
NAK	NAK コードを受信した	1 リンクュニットの設定を確認してくださ
トランザクションエラー (A・B 製 PLC)	送信トランザクションデータと受信トランザ クションデータが不一致であった	い (設定後は各コントローラの電源を一度
通信エラー	不明な通信エラーを検出した	OFF LT (ださい)
カウントエラー (三菱 CPU および Q リンク ユニット)	期待したデータ数がカウント値と異なってい た	 V-SFT-5の[システム設定]→[接続機 器設定]の設定を確認してください 時々エラーが発生する場合は、ノイズ等
コマンドエラー (三菱 CPU および Q リンク ユニット)	レスポンスのコードが期待したコードと異 なっていた	による通信エラーが考えられます
該当カセットなし (三菱 ACPU)	現在サポートしているメモリカセットに該当 するカセットがない	は朱田沙空口士でご声放ノださい
パスワードエラー (三菱 QCPU)	適合するパスワードがない	扨門 111 訳応口 み じ こ 建裕 く に さい

Ethernet

エラーメッセージ	内容	対策
Ethernet Error:XXXX	システムメモリ \$s518 に Ethernet の状態が格 納され、0(正常)以外のコードが入った場合 にエラーとなります。 XXXX : エラー No.	エラー No. の内容および対策については、別 冊『V8 シリーズ 接続マニュアル』の「付録 5 Ethernet」の「エラー表示」を参照してくだ さい。

2. Data Loading...

RUN モード切り替え時、画面データでエラーを検出した場合、V808CH 上に以下のようなメッセージを表示します。



エラーメッセーシ	内容	対策
スクリーン No 異常	受信した No. のスクリーン が設定されていない	通信開始時、V808CHは[読込エリア]n+2に入っている値を スクリーン No. と判断して表示します。 この[読込エリア]n+2の値が、実際に作成していないスク リーン No. になっていないか、各コントローラをチェックし てください
Error : XX (XX : XXX)	作成した画面データに誤り があります	V808CH 上に表示された項目 No と項目内 No からエラーの起きた編集画面を確認し、エラー内容(=エラー No)を確認し、修正します。 Error: XX (XX: XXX) 項目内 No. 項目 No. 項目 No. 項目 No. 項目 No. 項目 No. 第一項目 No. 第一項目 No. 第一項目 No. 第一項目 No. 項目 No. 項目 No. 第一項目 No. 第一日の 項目 No.

*「エラー No.」について V808CH は、以下のエラー No. が追加されています。その他のエラー No. については、『V8 シリーズリファレ ンス マニュアル』を参照してください。

エラー No.	内容	対処方法
175	本体はこのラダー通信機能をサポートしてい ません。	ラダー通信の設定を確認してください。
197	TB2 は RS232C 固定のポートです。	画面データで設定したポート設定を確認して ください。
198	 TB3 は RS422/RS485 固定のポートです。	画面データで設定したポート設定を確認して ください。
3. Warning

 [メイン画面] で Warning エラーを表示 する場合があります。これは警告メッ セージです。
 警告内容およびその対処方法については 別冊『V8 シリーズ リファレンスマニュ

アル』を参照し、画面を修正してくださ い。



4. タッチスイッチが動作しています

タッチスイッチが押された状態で電源を 投入すると本体上に右のようなエラーを 表示します。画面から手を離してください。

手を離してもエラー表示が消えない場合 は、技術相談窓口までご連絡ください。



5. SYSTEM ERROR

装置本体のシステムで異常(システムが暴走した場合に発生する)を検出した場合、V808CH 上に 以下のようなエラーを表示します。



Error Code: XX

- 1: ウォッチドックタイマエラー
- 11: スイッチテーブルエラー
- 30: 表示要求満杯エラー
- 31: メモリアロケート システムエラー
- 32: 一般例外/MMU アドレス システムエラー
- 33: RTOS システムエラー
- 34: メモリエラー
- 35: 不正メモリエラー

原因として次の3点が考えられます。

- 1) ノイズ等による本体内プログラムの暴走
- 2) 本体のハードウェア異常
- 3) 本体内プログラム不良

このエラーが発生した場合は、技術相談窓口までご連絡ください。

2. トラブルシューティング

エラーが発生したら

以下の手順に従ってください。

- 1. 下記の「よくある症状一覧」の症状をチェックし、該当する内容があれば処置に従って対応して ください。
- 1. で該当する症状がない場合は、弊社技術相談窓口(裏表紙記載)までご連絡ください。
 その場合、あらかじめ詳しい情報(本体の型式、シリアル No.、本体の故障状態、本体に表示されたエラーメッセージ内容など)を確認の上、ご連絡くださるようご協力お願い致します。

よくある症状一覧

症状	原因	処置
各コントローラと接続している のに全く通信しない。本体上に は「通信エラー:タイムアウト」 と表示される。	以下の原因が考えられます。 1)接続ケーブルの配線ミス、断線 2)各コントローラ側のパラメータ設定が 間違っている、V808CH 側と一致して いない 3)本体不良	対応は以下のとおりです。 1)ケーブルを確認してください。 2)各コントローラ側のパラメータを一度確 認してください。 3)本体の [I/Oテスト] 画面にて、ループ バックテスト (P5-28 参照) を行ってく ださい。 NG と出るようならば、至急弊社までご 返却ください。
今まで正常に通信していたのに、 ある画面を開くと必ず「通信エ ラー:異常コードを受信しまし た」が出るようになった。 <u>通信エラー</u> PLG1 異常コードを受信しました <u>201-75 : 40 01</u>	 異常コードは各コントローラ側からのエ ラー(NAK)コードを表示しています。 1)ある画面でだけ出るエラーコードなら ば、可能性として、各コントローラ側 にないメモリアドレスを V808CH の画 面上に配置しています。 2)電源投入時に出るエラーコードならば、 [システム設定]→[接続機器設定]→ [読込/書込エリア]、バッファリングエ リア設定、初期マクロ等で各コント ローラ側にないメモリアドレスを設定 している可能性があります。 	 その画面で設定している各コントローラ 側のメモリで、範囲をオーバーしている ようなアドレスがないか確認してください。 [システム設定] → [接続機器設定] → [読込/書込エリア]、バッファリングエ リア設定、初期マクロ等で設定している 各コントローラ側のメモリで、範囲を オーバーしているようなアドレスがない か確認してください。
今まで正常に通信していたのに、 突然「通信エラー:パリティ」 「通信エラー:フレーミング」な どが出るようになった。 PLCT フレーミング 200-240 : ##5-F :	ノイズによるエラーの可能性が高いです。	ノイズ対策が十分に行われているか確認し てください。 例) 動力線などと一緒に通信ケーブルを束ねて いないか、 ケーブルにフェライトコアを装着してみた らどうか、 電源にノイズフィルターを付けることはで さないか、など

症状	原因	処置
「SYSTEM ERROR: xx」が表示	症状によって、原因が異なります。	
された。	1)電源を入れ直したら復旧する	1)もし電源再投入後に安定して通信してい るようならば しばらく様子を見てくだ
System Error	* 通信がタイミングによってうまくいか なかった。	さい。
Briter No. 0 Error Code: 32	2) 電源を入れなおしても復旧しない ↓	 2) V808CH 上に表示されている Error No. 等の内容全てをメモレ、弊社技術相談窓
RESTART	ある条件下で必ず起きるエラー、また は本体不良。	ロまでご連絡ください。
	3) CF カードを挿している	3) 逆向きに CF カードを挿していないかご 変図ください
	・ CF カードの向き(表裏)が逆で挿して いる可能性がある。	雑誌くてさせい。
	上記症状に当てはまらない場合は、技術相 談窓口までご連絡ください。	
スイッチが効かない。	1) RUN 中に効かない。ピピピっと音がす る。	1) スイッチの機能など、V-SFT-5 で設定を 一度確認してください。
	↓ スイッチにインターロックをかけてい ませんか?	
	2)タッチスイッチがずれて反応する。 [メイン画面]から[//Oテスト]画面 に入り、[タッチスイッチ]にて、画面 を押すと、ずれた箇所が反応がする。 ↓ スイッチずれの可能性があります。	2)タッチスイッチのキャリブレーション (P 5-34 参照)を実行してください。
	3)STOP しても効かない。 [メイン画面]から [I/O テスト] 画面 に入り、[タッチスイッチ] にて、画面 を押しても反応がない。 ↓	3)弊社までご返却ください。
	本体のスイッチ不良の可能性がありま す。	
画面が真っ暗になった。 画面がうす暗い。	 1)画面にさわると元の明るい画面になる。 ↓ バックライトの設定が自動的に動いているだけです。 	1) バックライトの OFF するタイミングを 変更するならば、V-SFT-5 の設定を変更 してください。
	2) 画面に触れても復帰しない。POWER ランプはついている。 ↓ バックライトの寿命または本体のT	2) 一度、弊社までご返却ください。
	ラーの可能性があります。	

症状	原因	処置
画面転送ができない。	1) 一度もうまくいっていない。 ↓ V-SFT-5 側の設定がおかしい可能性が あります。	1) V-SFT-5 の USB/Ethernet の選択が間 違っていないか確認してください。
	2)転送できない。 ↓ Ethernet または USB の設定に問題があ る可能性があります。	 2) Ethernet 転送の場合 V-SFT-5 と本体の IP アドレスが一致し ているか確認してください。 また本体で Ethernet 接続に関するエラー が発生していないか確認してください。 USB 転送の場合 USB ドライバが正常に認識しています か?ドライバのインストール(P2-18) は正常に終了しましたか? うまくいかない場合は、技術相談窓口ま でご連絡ください。
	 3)以前はできたのに、急にできなくなった。 ↓ 本体側の不良または設定不一致の可能 性があります。 	3) パソコンのデバイスマネージャーで USB ドライバが認識されているか、確 認してください。(P 2-21)



1. 保守・点検
 2. アフターサービス

1. 保守・点検

保守・点検時は必ず電源を切ってから行ってください。感電や破損のおそれがありま 危険 す。

日常の点検

- V808CHの取り付けネジのゆるみがないことを確認してください。
- 相手機器との接続に使われている端子台の端子ネジにゆるみがないことを確認してください。
- ディスプレイ表面やフレームが汚れた場合は、市販のアルコールを乾いた柔らかい布等にしみ込ませて拭き取ってください。
- 定期点検を1年に1~2回ほど実施してください。ただし、設備・装置の移転や改造時、また高温 多湿やホコリの多く出る環境下の場合には、状況に応じて回数を増やしてください。

定期点検

以下の点検項目を確認してください。

- 周囲の温度、湿度は適しているか?
 0 ~ +40 ℃、85%RH 以下
- 周囲の雰囲気は適しているか?
 じんあいがないこと、導電性のじんあいがないこと
- 腐食性ガスがないか?
- 電源電圧は許容範囲内であるか?
 DC 品: DC24V ± 10%
- V808CHの取り付けネジにゆるみはないか?
- 相手機器との接続に使われているコネクタ、端子ネジにゆるみはないか?
- リチウムー次電池の有効期限は過ぎていないか?
 購入してから約5年

2. アフターサービス

故障かな?と思ったら

故障・修理に関するご質問、ご相談に関しては、V808CH をお買い上げいただいた代理店、弊社営 業担当者もしくは弊社技術相談窓口(裏面記載)までご連絡ください。 なお、あらかじめ詳しい情報(本体の型式および Ser. No.、本体の故障状態、エラーメッセージが出 ている場合は正確なメッセージ内容、など)を確認の上、ご連絡くださるようご協力お願い致しま す。

* なお、本章の最終ページ(P7-3参照)に問い合わせ用紙のフォーマットページがあります。 ご利用ください。

保証期間

ご購入後またはご指定の場所に納入後1年間までを保証期間とします。 ただし、製造後の弊社からの流通期間を最長6ヶ月として、製造後18ヶ月間(Ser. No. にて確認) までを保証期間の上限とします。なお、契約にて保証期間が設定されているものは、契約保証期間 が優先されます。

無償修理

上記保証期間内の故障については無償で修理させていただきます。 ただし、以下の原因による故障の場合は、保証期間内であっても有償とさせていただきます。

- 落下、衝撃、取扱い不適当による外観(ケース、シート)、タッチスイッチ、液晶表示器等の損 傷及び破損。
- 液晶表示器及びバックライトの寿命によるもの。
- プリント板の外部機器との接続パターン溶断。端子台及びコネクタ接続において外部での負荷短 絡などにより発生したパターン溶断。
- 誤配線による過電圧、異電圧の印加(電源端子、外部通信用端子部、その他端子台など)。
- 雷サージに因るとみられる損傷。
- 設置環境の不具合による異物(導電性異物、水、溶剤、粉塵など)の侵入による障害。
- 腐食性ガス、高湿度などの環境下での使用に伴う損傷。
- 仕様値以上の振動、衝撃環境下での使用に伴う損傷。
- 顧客による商品の解体、改造されたもの、又その他、明らかに顧客の取扱いの不適当が原因と判 断されるもの。

有償修理

上記保証期間後の故障、および無償修理の条件に該当していない故障については有償で修理させて いただきます。

問い合わせ用紙フォーマット

御担当者名				
御社名				
	TEL		FAX	
御連絡先	Email			
本体型式 (*1)			Ser. No. (*1)	
本体 Ver. ^(*2)	SYS. PROG.	. Ver. :	I/F DRV. Ver	
ご購入元 (代理店名)				
弊社営業担当者	名		購入日	
			ť	

*1 本体型式 (TYPE)、Ser. (シリアル) No. (7桁 + アルファベット1文字)は、本体裏面のシールに明記されています。

	Fuji Electric Group POD MONITOUCH	FO
シリアル No	TYPE : V808iCH0 INPUT : Class2 24VDC CURRENT : 0.5A -Ser No. : 8120027 a	
	Hakko Electronics Co.,Ltd. Mac	le in Japan

*2 確認が可能な場合にご記入願います。 バージョンは、[メイン画面](P5-3参照)に表示されます。

MEMO このページは、ご自由にお使いください。



- 1. ハンディ設定
- 2. マクロ
- 3. システムメモリ(\$s)

1. ハンディ設定

デッドマンスイッチ、キースイッチの使用する / しないを V-SFT で設定可能です。

設定

[システム設定] → [本体設定] → [ハンディ設定] をクリックすると、以下のダイアログが表示されます。

システム設定(A) ツール(D) ウィンドウ(W)			
□編集機種選択(M)			
▲ 接続機器設定(2) 転送テーブル(1)	•		
PLC)通信(P) 温調器/PLC2Way)通信(T) Ethernet)通信(E) 拉3表通信(C)			
本体設定(2)	オプションユニット(山)	本体設定	
回 フォント設定(E)	□ ブリンタ(R) MR400フォーマットテーブル(M)	バックライト ブザー	システム/モードスイッチ
□ グローバルファンクションスイッチ設定(④) ◎ グローバルオーバーラップ設定(Ψ)	ੑ 〒/シッシライトϢ 開 ^ッ フサー® クリッ	・ク	A D D THEAL MARGINE
	 ※ フリンカ/フラウシュ(E) ・ フリンカ/フラウシュ(E) ・ フラフマの ・ アチオンアム(E) ・ アチオンアム(E) ・ アチオンアム(E) ・ アチオンアム(E) ・ アチオンアム(E) ・ アナック(E) ・ アナック(E)	□+-□yウスイy≠使用する	
■ YンUBRとW/ ■ 時間表示フォーマット設定(D) 日本語変換機能を使用する(J) 拡張帳票を使用する(E)	GD-OUCY VUUSE A MARKE (2/		OK キャンセル

項目	内容
□ デッドマンスイッチ使用する ^{*1}	画面操作時にデッドマンスイッチを使用する / しないを設定します。 ^{*2} 常に画面操作可能な状態にする時は、チェックを外します。 (デフォルト:チェックあり)
□ キーロックスイッチ使用する	キースイッチを使用する / しないを設定します。キースイッチに関係な く、常に画面操作可能な状態にする時は、チェックを外します。 (デフォルト : チェックなし)

*1 V808CH0/V808CH1/V808CH2/V808CH3 を使用時のみ、設定が有効。

*2 RUN 中にデッドマンスイッチを使用する / しないを設定する場合、マクロコマンド SET_DSW を使います。 次項「2. マクロ」P 8-2 を参照してください。

2. マクロ

RUN 中にデッドマンスイッチを使用する / しないを変更する場合、システムコマンド SYS (SET_DSW)を使用します。

SYS (SET_DSW) F1

機能:デッドマンスイッチ設定

V808CH のデッドマンスイッチの使用する / しないを設定します。

使用メモリ

	内部メモリ	PLC1 ~ 8 メモリ	メモリカード	定数
F1	0			

○: 設定可(間接不可) ◎: 設定可(間接可)

範囲

	値
F1	0:無効 1:有効

動作例

デッドマンスイッチを [無効] → [有効] に変更する場合

\$u100 = 1 (W) [有効] SYS (SET_DSW) \$u100

補足

- V808CH/V608CH のみ有効なコマンドです。
- 電源投入時は[ハンディ設定]が有効になります(初期状態)。また、電源 OFF 時、マクロで変 更した設定は初期状態に戻ります。
- マクロの実行結果は \$s72 に格納されます。

コード (DEC)	内容
0	正常
-1	実行エラー

3. システムメモリ(\$s)

システムメモリ(\$s)を使って、デッドマンスイッチ、キースイッチの現在の状態や外部出力ス イッチのアンサーバックの確認が行えます。

一覧

アドレス	内容	メモリタイプ
\$s490	V808CH デッドマンスイッチ / キースイッチの設定	
\$s491	V808CH 各スイッチのアンサーバック	\sim V

アドレス詳細

• \$s490

デッドマンスイッチ/キースイッチの設定の使用する/しない、画面操作が有効/無効かの現在の状態を出力します。



• \$s491

デッドマンスイッチ、キースイッチ、ファンクションスイッチ SW1 ~ 4 の外部出力スイッチの アンサーバックを出力します。





技術相談窓口

モニタッチについて、お客様より直接ご相談をお受けする「技術相談窓口」を開設しております。

●電話でのお問い合わせ tel. 076-274-5130 ●ファックスでのお問い合わせ fax. 076-274-5208 ●メールでのお問い合わせ ☆ gijyutsu1@hakko-elec.co.jp

製造元・販売元

発紘電機株式会社

www.hakko-elec.co.jp

〒924-0035 石川県白山市上柏野町890番1

販売元

富士電機株式会社

www.fujielectric.co.jp

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 (ゲートシティ大崎イーストタワー)

標準価格 3,300円(税別)